

## 第2節 放射性炭素年代測定

山形 秀樹 (バレー・ラボ)

## 1. はじめに

厨川谷地遺跡より検出された炭化物および木片の加速器質量分析法(AMS法)による放射性炭素年代測定を実施した。

## 2. 試料と方法

試料は、SKP614から出土した炭化材(ブナ属)1点、SKP538から出土した木片(クリ)1点、SKP604から出土した木片(クリ)1点、調査区外旧河道中から出土した木片(クリ)1点、SK154から出土した草本質炭化物1点、SK107埋土中から出土した炭化材(サクラ属)1点、SK113埋土中から出土した炭化材(ブナ属)1点、SK276・4層から出土した炭化材1点、SN1322から出土した炭化材1点、SI1330Aから出土した炭化材(コナラ節)1点の併せて10点である。

これら試料は、酸・アルカリ・酸洗浄を施して不純物を除去し、石墨(グラファイト)に調整した後、加速器質量分析計(AMS)にて測定した。測定された $^{14}\text{C}$ 濃度について同位体分別効果の補正を行なった後、補正した $^{14}\text{C}$ 濃度を用いて $^{14}\text{C}$ 年代を算出した。

## 3. 結果

表1に、各試料の同位体分別効果の補正值(基準値-25.0%)、同位体分別効果による測定誤差を補正した $^{14}\text{C}$ 年代、 $^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に較正した年代を示す。

$^{14}\text{C}$ 年代値(yrBP)の算出は、 $^{14}\text{C}$ の半減期としてLibbyの半減期5,568年を使用した。また、付記した $^{14}\text{C}$ 年代誤差( $\pm 1\sigma$ )は、計数値の標準偏差 $\sigma$ に基づいて算出し、標準偏差(One sigma)に相当する年代である。これは、試料の $^{14}\text{C}$ 年代が、その $^{14}\text{C}$ 年代誤差範囲内に入る確率が68%であることを意味する。

なお、暦年代較正の詳細は、以下の通りである。

## 暦年代較正

暦年代較正とは、大気中の $^{14}\text{C}$ 濃度が一定で半減期が5,568年として算出された $^{14}\text{C}$ 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の $^{14}\text{C}$ 濃度の変動、および半減期の違い( $^{14}\text{C}$ の半減期 $5,730 \pm 40$ 年)を較正し、より正確な年代を求めるために、 $^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に変換することである。具体的には、年代既知の樹木年輪の詳細な測定値を用い、さらに珊瑚のU-Th年代と $^{14}\text{C}$ 年代の比較、および海成堆積物中の縞状の堆積構造を用いて $^{14}\text{C}$ 年代と暦年代の関係を調べたデータにより、較正曲線を作成し、これを用いて $^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に較正した年代を算出する。

$^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に較正した年代の算出にCALIB 4.3(CALIB 3.0のバージョンアップ版)を使用した。なお、暦年代較正值は $^{14}\text{C}$ 年代値に対応する較正曲線上の暦年代値であり、 $1\sigma$ 暦年代範囲はプログラム中の確率法を使用して算出された $^{14}\text{C}$ 年代誤差に相当する暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値はその $1\sigma$ 暦年代範囲の確からしさを示す確率であり、10%未満についてはその表示を省略した。 $1\sigma$ 暦年代範囲のうち、その確からしさの確率が最も高い年代範囲については、表中に下線で示した。

## 4. 考察

各試料は、同位体分別効果の補正および暦年代較正を行なった。暦年代較正した $1\sigma$ 暦年代範囲のうち、その確からしさの確率が最も高い年代範囲に注目すると、それぞれより確かな年代値の範囲として示された。

## 引用文献

中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の14C年代, p.3-20.

Stuiver, M. and Reimer, P. J. (1993) Extended 14C Database and Revised CALIB3.0 14C Age Calibration Program, Radiocarbon, 35, p.215-230.

Stuiver, M., Reimer, P. J., Bard, E., Beck, J. W., Burr, G. S., Hughen, K. A., Kromer, B., McCormac, F. G., v. d. Plicht, J., and Spurk, M. (1998) INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration, 24,000-0 cal BP, Radiocarbon, 40, p.1041-1083.

表1. 放射性炭素年代測定および暦年代校正の結果

測定番号 (測定法)	試料データ	$\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$ (‰)	$^{14}\text{C}$ 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$ )	$^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に校正した年代	
				暦年代校正値	1 $\sigma$ 暦年代範囲
PLD-1298 (AMS)	炭化材 No.1 (ブナ属) SKP614 炭	-24.3	1260 $\pm 30$	cal AD 725	cal AD 690 - 705 (15.0%)
				cal AD 740	cal AD 710 - 755 (60.4%)
				cal AD 770	cal AD 760 - 780 (24.7%)
PLD-1299 (AMS)	木片 No.2 (クリ) SKP538 柱材	-26.6	1330 $\pm 30$	cal AD 675	cal AD 660 - 690 (77.1%)
					cal AD 700 - 710 (12.7%)
					cal AD 750 - 760 (10.2%)
PLD-1300 (AMS)	木片 No.3 (クリ) SKP604 礎板	-26.1	1230 $\pm 30$	cal AD 780	cal AD 720 - 745 (21.8%)
					cal AD 770 - 785 (14.8%)
					cal AD 790 - 830 (39.6%)
PLD-1301 (AMS)	木片 No.4 (クリ) 調査区外旧河道中	-26.9	1430 $\pm 30$	cal AD 640	cal AD 605 - 610 (11.3%)
					cal AD 615 - 655 (88.7%)
PLD-1302 (AMS)	炭化物 No.5 (草本質茎) SK154	-24.9	1190 $\pm 30$	cal AD 785	cal AD 780 - 790 (12.0%)
				cal AD 835	cal AD 810 - 885 (88.0%)
				cal AD 875	
PLD-1303 (AMS)	炭化材 No.6 (サクラ属) SK107 埋土中	-23.7	1120 $\pm 30$	cal AD 900	cal AD 895 - 905 (15.1%)
				cal AD 920	cal AD 910 - 925 (24.6%)
				cal AD 960	cal AD 935 - 975 (60.4%)
PLD-1304 (AMS)	炭化材 No.7 (ブナ属) SK113 埋土中	-25.0	1180 $\pm 30$	cal AD 885	cal AD 780 - 790 (11.6%)
					cal AD 810 - 890 (88.4%)
PLD-1305 (AMS)	炭化材 No.8 SK276 4層	-25.9	1170 $\pm 20$	cal AD 885	cal AD 780 - 790 (10.2%)
					cal AD 815 - 840 (30.2%)
					cal AD 860 - 895 (49.3%)
PLD-1306 (AMS)	炭化米 No.9 SN1322	-24.5	960 $\pm 20$	cal AD 1035	cal AD 1025 - 1040 (36.5%)
					cal AD 1095 - 1115 (39.4%)
					cal AD 1140 - 1155 (24.1%)
PLD-1307 (AMS)	炭化材 No.10 (コナラ節) SI1330A	-24.0	1300 $\pm 20$	cal AD 690	cal AD 680 - 715 (63.5%)
					cal AD 750 - 765 (36.5%)

### 第3節 火山灰分析

黒澤 一男 (パレオ・ラボ)

#### 1. 試料と分析方法

厨川谷地遺跡から採取された10試料を用いて以下の分析をおこなった。

- ①各試料について自然含水状態で約40g程度秤量し、乾燥器中で乾燥した後、再秤量して含水比を求めた。
- ②1φ (0.5mm : 30メッシュ)、2φ (0.25mm : 60メッシュ)、3φ (0.125mm : 120メッシュ)、4φ (0.063mm : 250メッシュ)、の4枚のふるいを重ね、流水下で電磁式フルイ振とう機を用いて、湿式ふるい分けをおこなった。各ふるいの残渣について、それぞれを乾燥・秤量して粒度組成としてあらし、試料の乾燥重量中における粒径4φ以上の砂粒分の重量%を含砂率とした。
- ③4φの残渣 (粒径0.125~0.063mm) については、重液 (テトラブロモエタン、比重2.96) を用いて重鉱物 (有色鉱物) と軽鉱物 (無色鉱物) に分離した。
- ④分離した軽鉱物それぞれについて封入剤レークサイトセメントを用いてプレパラートを作成した。それらを偏光顕微鏡下で鉱物粒子を同定、計数し、軽鉱物組成を求めた。軽鉱物は火山ガラスと長石類に分類した。なお、軽鉱物中に含まれる未分解のローム粒子や風化粒子については試料の洗浄のしかたによって含有率が異なる場合があるので、計数の対象から除いた。また、軽鉱物中の火山ガラスの形態については、町田・新井(1992)の分類基準に従い形態分類をおこなった (図1)。
- ⑤火山ガラスの含有量の高い試料については火山ガラスの屈折率測定を行った。火山ガラスの屈折率については、横山ほか(1986)の方法に従って、温度変化型屈折率測定装置 (RIMS86) を用いて屈折率 (n) を測定し、その結果を範囲 (range) であらわした。

#### 2. 結果

厨川谷地遺跡において分析をおこなった結果を以下に述べる。屈折率の測定については、火山ガラスの含有量の高い試料1、3、5、9、10について行った結果を述べる。

堆積物中の砂粒分の割合 (含砂率) は、6試料 (試料1、3、5、8、9、10) において25%以上の値となり、試料9では67.6%と最も高い値を示す。逆に試料3、4、6、7は7%未満と低い値を示す。

砂粒分の粒度組成は、試料1、3、5、9、10において3φ残渣が53%以上と最も高い値を示す。試料6では1φ残渣と4φ残渣が、試料8では2φ残渣と3φ残渣が共に35%以上となる。試料2、4、7では4φ残渣が48%以上と最も高い値を示す。

重・軽鉱物比は、試料1、3、5、9、10において重鉱物が5.7~14.3%と他の5試料と比べ高い値を示す。軽鉱物は、試料1、3、5、7、9、10では火山ガラスが80%以上を占める。逆に試料6、8では長石が88%以上を示す。

火山ガラスの形態は、スポンジ状の軽石型が多く見られる。試料1、3、5、9、10では軽石型スポンジ状について軽石型繊維状が多く見られる。

火山ガラスの屈折率測定値は、試料1で範囲1.5009-1.5043、平均1.5027、試料3で範囲1.5000-1.5048、平均1.5029、試料5で範囲1.5002-1.5042、平均1.5028、試料9で範囲1.5007-1.5049、平均1.5028、試料1で範囲1.5008-1.5067、平均1.5040となる。

#### 3. 堆積物中の指標テフラの検討

今回の分析から、厨川谷地遺跡において堆積物から検出されたテフラについて、その特徴と噴出起源及び年代について述べる。

#### 【To-a：十和田a火山灰】

試料1、3、5、9は、火山ガラスの形態とその屈折率の値から十和田a火山灰（Towada-a：To-a；大池，1972）と考えられる。火山ガラスを用いた屈折率測定結果は範囲1.500-1.505、平均1.503となり、従来の十和田a火山灰の値（範囲1.496-1.504；町田・新井，1992）とほぼ重なることから、To-aに同定される。

To-aは東北の十和田カルデラを噴出源とし、東北地方のほぼ全域に分布している。また、噴出時代は、古文書から西暦915年（平安時代前期）であると考えられている（町田ほか，1981）。

#### 【To-H：十和田八戸火山灰】

試料10に認められる軽石型（スポンジ状・繊維状）を中心とした火山ガラスは、その形態的特長、屈折率の値から十和田八戸火山灰（Towada-Hachinohe：To-H；）を起源とするものと考えられる。町田・新井（1992）によるとTo-Hは、火山ガラスの形態が軽石型であり、また重鉱物中には角閃石が含まれることが特徴である。ここで見られる火山ガラスの多くが軽石型であり、火山ガラスの屈折率測定結果が範囲1.500-1.507、平均1.505となり、従来の値（範囲1.503～1.508；町田・新井，1992）と重なることから、To-Hと考えられる。

To-Hは東北の十和田カルデラを噴出源とし、東北地方に分布している。また、噴出年代はテフラ中の有機物を用いた<sup>14</sup>C年代測定から約12,000～13,000年前という年代が得られている（Hayakawa，1985ほか）。

なお試料2、4、6、7、8に関しては火山ガラス含有量が低いこと、含まれている火山ガラスが二次的な運搬作用により丸みをおびていることからテフラ層と考えられない。

#### 4. まとめ

厨川谷地遺跡におけるテフラ分析により指標テフラとして、To-a（十和田a火山灰）とTo-H（十和田八戸火山灰）が認められた。これによりそれぞれの試料の層準が西暦915年（平安時代前期）と約12,000～13,000年前であると考えられる。

#### 引用文献

- Hayakawa, Y., (1985) Pyroclastic geology of Towada volcano. Bull. Earthq. Res. Inst. Tokyo, 60, 507-592.
- 町田 洋・新井房夫 (1992)「火山灰アトラス」.東京大学出版会,277p.
- 町田 洋・新井房夫・森脇 広(1981)日本海を渡ってきたテフラ.科学,51,562-569.
- 大池昭二 (1972) 十和田火山東麓における完新世テフラの編年. 第四紀研究, 11, 228-235.
- 横山卓雄・檀原 徹・山下 透 (1986) 温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定. 第四紀研究, 25, 21-30.

## 第5章 自然科学的分析

表1 別川各地遺跡における火山灰分析結果

試料名	遺跡名	遺跡層	粒径分布組成率 (%)					全重量組成率 (%)		
			1.0	2.0	5.0	10	20	軽石型	軽石型	
試料1	7KGYT	SK27b	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7	88.2
試料2	7KGYT	SK27b	17.1	5.8	20.8	5.4	20.1	28.4	1.1	61.4
試料3	7KGYT	SK27b	44.1	19.2	11.9	21.9	24.3	28.9	1.1	58.8
試料4	7KGYT	SK27b	28.1	5.8	2.8	5.4	21.1	26.1	11.2	68.4
試料5	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7	88.2
試料6	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7	88.2
試料7	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7	88.2
試料8	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7	88.2
試料9	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7	88.2
試料10	7KGYT	L340	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7	88.2
試料11	7KGYT	L340	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7	88.2

試料名	遺跡名	遺跡層	火山灰中軽石型組成率 (%)					軽石型組成率 (%)	
			1.0	2.0	5.0	10	20	軽石型	軽石型
試料1	7KGYT	SK27b	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7
試料2	7KGYT	SK27b	17.1	5.8	20.8	5.4	20.1	28.4	1.1
試料3	7KGYT	SK27b	44.1	19.2	11.9	21.9	24.3	28.9	1.1
試料4	7KGYT	SK27b	28.1	5.8	2.8	5.4	21.1	26.1	11.2
試料5	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7
試料6	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7
試料7	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7
試料8	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7
試料9	7KGYT	SK115	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7
試料10	7KGYT	L340	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7
試料11	7KGYT	L340	10.1	48.2	33.9	1.9	20.4	22.1	57.7

表2 火山ガラスの結核率測定結果

試料名	粒径 (range)	平均 (mean)	
試料1	7KGYT SK27b 1層	1,5079 - 1,5043	1,5027
試料2	7KGYT SK17b 2層	1,5000 - 1,5048	1,5029
試料5	7KGYT SK115 埋土中	1,5002 - 1,5042	1,5028
試料9	7KGYT L340 白色火山灰範囲サンプル	1,5007 - 1,5049	1,5028
試料10	7KGYT SK180	1,5006 - 1,5067	1,5040



図1 火山ガラスの形態区分 (町田・新井, 1992)

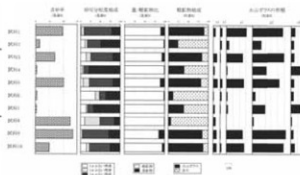


図2 別川各地遺跡における埋積物中の灰物組成

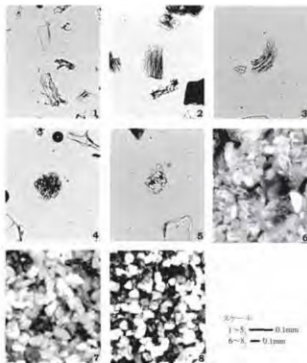


図3 別川各地遺跡の埋積物中の灰物相

- 1: バブル型平板状火山ガラス (上) と軽石型スポンジ状火山ガラス (下) (試料1)  
 2: 軽石型編織状火山ガラス (試料1,3)      4: 軽石型スポンジ状火山ガラス (試料10,5)  
 6: 毛状 (試料1)      7: 涙珠 (試料9)      8: 涙珠 (試料6)

## 第4節 厨川谷地遺跡出土木材の樹種同定

植田弥生 (パレオ・ラボ)

### 1. はじめに

当遺跡から出土した、木材10点の樹種同定結果を報告する。

### 2. 同定の方法

材の組織標本は、片刃の剃刀を用いて材の横断面(木口)・接線断面(板目)・放射断面(柃目)の3方向を薄く剥ぎ取りスライドグラスの上に並べ、ガムクロラールで封入し永久プレパラートを作成した。光学顕微鏡を用いてこれらの材組織を観察し同定を行った。

### 3. 結果

検出された分類群は、コナラ節・クリ・モクレン属・サクラ属・キハダ・トチノキの落葉広葉樹6分類群が検出された。

礎板はクリ(1点)、柱材からはキハダ(2点)・クリ(1点)・モクレン属(1点)が検出された。そのほかに、SKP533からキハダ、SKP379からサクラ属が検出された。遺構SKPからは、キハダの検出がめだった。

SK263とSK276の試料はいずれも樹皮で、SK263はトチノキの樹皮である事が判った。調査区外旧河道中の材は、コナラ節であった。

#### 材組織記載

コナラ属 コナラ亜属 コナラ節 *Quercus*. subgen. *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 図版1 1a-1c (試料6)

年輪の始めに中型の管孔が配列し、晩材部では薄壁・角形で非常に小型の管孔が火炎状に配列する環孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単一、内腔にチロースがある。放射組織は単列のものと同放射組織・複合状がある。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科 図1 2a-2c(試料4)

年輪の始めに大型の管孔が配列し、晩材部では非常に小型の管孔が火炎状に配列する環孔材。道管の壁孔は小型で交互状、穿孔は単一、内腔にはチロースがある。放射組織は単列同性、道管との壁孔は孔口が大きく交互状である。2細胞幅の放射組織もあり、年輪始めの大型管孔はやや間隔が開いた部分が目立つことから、節部や根元に近い部位の材と思われる。

モクレン属 *Magnolia* モクレン属 図版1 3a-3c(試料3)

小型の管孔が単独または2~数個が複合して散在する散孔材。道管の壁孔は階段状、穿孔は主に単一で階段穿孔も見られ、内腔には水平や弧状のチロースがある。放射組織は異性、主に2細胞幅、上下端に方形細胞があり、道管との壁孔は大きく階段状または対列状に整然と配列している。

サクラ属 *Prunus* バラ科 図版2 4a-4c(試料8)

小型の管孔が年輪の始めにやや密に分布し、その後放射状・斜状に複合して全体的にうねるように分布している散孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単一、内腔に細いらせん肥厚がわずかに認められた。放射組織はほぼ同性、上下端に方形・直立細胞があり、約3~4細胞幅、道管との壁孔は小型で密在する。

キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. ミカン科 図版2 5a-5c(試料2)

年輪の始めに大型の管孔が1~3層配列し、孔圏外では急に径を減じて非常に小型の管孔が多数複合

し接線状・斜状・波状に配列する環孔材。道管の壁孔は小さく交互状、穿孔は単一、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は同性、主に3~4細胞幅で整った紡錘形、細胞高も15~20細胞高前後ではほぼ同じ高さである。

トチノキ(樹皮) *Aesculus turbinata* Blume トチノキ科 図版2 6a-6c(試料9)

やや厚い樹皮でその内側の部分の切片を観察した結果、単列同性で層階状に配列する放射組織の特徴が認められた事から、トチノキと同定した。幹・枝材の材部に比べ、放射柔細胞はやや大きい。

#### 4. まとめ

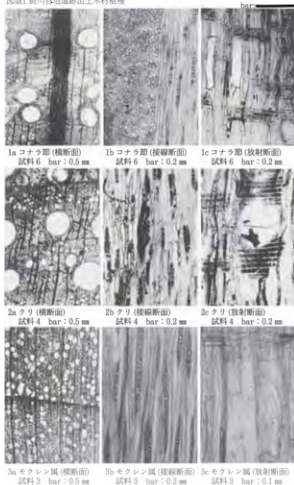
遺構SKPから出土した木材の樹種は、いずれも柱材や建築材として利用度の高い樹種である。特に当遺跡ではキハダとクリが多いのが目立ち、この2種は広葉樹材の中でも特に丈夫で耐久性・耐湿性に優れた材質で知られている。SKPからは礎板・柱材が多く検出されていることから、耐久性の高い樹種が選択使用されていた事が伺える。

遺構SKから出土した試料は、樹皮であった点共通していて、その1点はトチノキである事が確認できた。

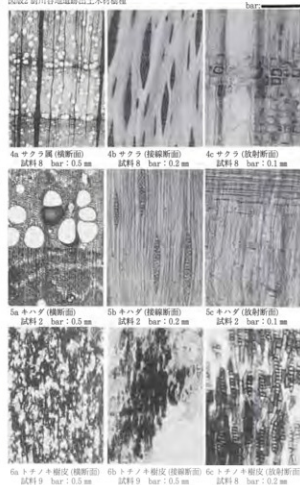
表1 厨川谷地遺跡出土木材樹種同定結果

試料番号	試料形態	遺構	樹種
1	生材	SKP604 礎板サンプル	クリ
2	生材	SKP605 柱材サンプル	キハダ
3	生材	SKP608 柱(杭)サンプル	モクレン属
4	生材	SKP538 柱材サンプル	クリ
5	生材	SKP606 柱材サンプル	キハダ
6	生材	調査区外 旧河道中	コナラ節
7	生材	SKP533 RW1	キハダ
8	生材	SKP379 RW1	サクラ属
9	生材	SK263 最下層サンプル	トチノキ樹皮
10	生材	SK276 4層サンプル	樹皮

図版1 厨川谷地遺跡出土木材樹種



図版2 厨川谷地遺跡出土木材樹種



分析図版12 樹種同定



## 第6章 まとめ

### 厨川谷地遺跡における祭祀域の構造

弘田柵跡では9世紀中頃までに外柵が消滅し、弘田柵としての領域が丘陵域に限定されていくことが知られている。今回の厨川谷地遺跡の発掘調査により、9世紀後半代～10世紀前半代にかけて本遺跡が弘田柵の祭祀域として機能したことが明らかとなった。これは外柵消滅後も、弘田柵として使用する領域が柵外沖積地にまで及んでいたことを示している。現在、弘田柵跡は広大な沖積地に点在する丘陵上に立地した城柵官衙遺跡として捉えられているが、周辺に広がる沖積地（氾濫原）上にも密接に関連した遺構群が包蔵されている可能性が極めて高い。今回の調査区は厨川谷地遺跡の中心部分にあたるが、弘田柵の祭祀域としては、今回の調査区の周辺域にまで拡大していることが確認された。調査区内でも「範囲C」とした部分の西半が祭祀域の核心となっており、複数の旧河道に囲まれた微高地上に祭祀遺構群が展開していた。

弘田柵の祭祀域として厨川谷地遺跡が設けられたのは、IV層上面（地山面）に柵列および掘立柱建物が設けられた最初の段階で、以後Ⅲ層上面の十和田a火山灰降灰後まで継続して様々な祭祀が営まれる。S A1002～1005柵列跡およびS B901～906掘立柱建物跡は、IV層上面～Ⅲ層中の段階に機能したと考えられ、概ね9世紀末～10世紀初頭には滅失する。S A1004・1005柵列跡は、S A1002・1003柵列跡より相対的に古いと考えられ、S A1004・1005柵列跡は微高地を東西方向に区切り、祭祀域を大きく北側と南側の2つの区域に区画する区画柵列である。また北側の区域は南北をS A1002・1003柵列跡、東を甲A地区湧水点（S K532）、および西側をS L地区（S L407）で区画されており、目隠し堀としてのS A1002・1003柵列および東西の河川流路により閉ざされた空間が形成され、内部にS B901・902・904・905掘立柱建物が設けられている。また南側の区域には乙A地区湧水点を中心とする河川流路が広がっている。つまり祭祀域は、S A1004・1005柵列により南北に区画され、それぞれ北側の区域では目隠し堀を伴う掘立柱建物（祭祀屋）を舞台とした祭祀、南側の区域では乙A地区湧水点および河川流路を「場」とする水辺を用いた祭祀とが、各々の目的により執り行われていたと考えられる。

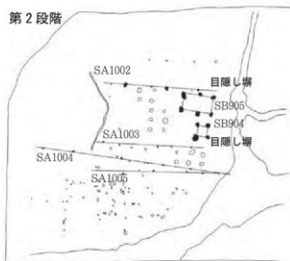
目隠し堀が機能する間に、「S B904・905掘立柱建物」→「S B901・902掘立柱建物」へと祭祀屋が遷地し、その後S A1004・1005柵列の位置にS B903・906掘立柱建物が祭祀屋として設けられている。この段階では、区画柵列であるS A1004・1005柵列および目隠し堀S A1002・1003柵列が滅失したものと考えられる。つまりS B903・906掘立柱建物が祭祀域を直接的に区画することとなり、これらの祭祀屋が滅失する9世紀末～10世紀初頭の段階に至っては、祭祀域における物理的な区画そのものが消滅することとなる。よって、10世紀第1四半期には、河川流路に囲まれた微高地が単一の祭祀域として使用されるに至ったと考えられる。

後述するが、北側の区域では弘田柵官衙ブロックで管理・使用された祭器について、その機能を停止するための祭祀が執り行われたことが想定され、祭祀の最終段階においては、それらを祭祀屋の周辺に撒く（送る）場でもあったと考えられる。また南側の区域では人形が出土しており、ここが載えを中心とする律令祭祀が執り行われる「載所」であったことが予想され、いわゆる「水辺の祭祀」の

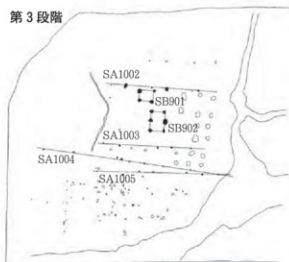
第1段階



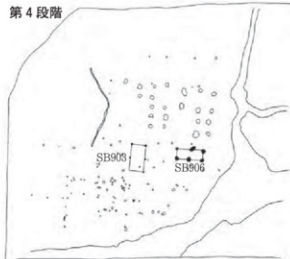
第2段階



第3段階



第4段階



場として機能したと考えられる。この「水辺の祭祀」では、祭祀のために作られた硬質で焼き締まりの良い土師器の一群を持ち込み、祭祀に際して現地で墨書行為が行われた。器は、墨書によって祭器としての機能が与えられ、最終的には水辺に撒かれる（送られる）行為も確認できた。

Ⅲ層上面の遺構群は、区画柵列および祭祀屋が滅失した後のものと考えられる。しかしこの時期の氾濫原内は地表面が凹凸していたことが予想されるため、覆土に十和田a火山灰が関係しない遺構の時期については確定し得ないのが実状で、その多くは微高地周辺が単一の祭祀域として使用される段階の遺構群と思われる。土坑の項でC類型として説明した人為的に掘削された土坑は、微高地上に広く分布して覆土に十和田a火山灰2次堆積ブロックを含み、降灰直後に埋没したことが確実である。これらの遺構には墨書土器や木製祭祀具を始めとする多くの祭祀関連遺物とともに、内面に墨が塗布された須恵器壺甕類の破片が出土することが多い。これらの出土遺物は、降灰時に執り行われた様々な祭祀の内容を直接的に示しており、前述した須恵器壺甕類を意図的に破砕した後に、特定の破片内面に墨を塗布して広域に散布する祭祀行為が盛行し、降灰時の段階では、周囲が河川流路に囲まれた微高地上に、内面に墨が塗布された須恵器壺甕類の破片が広く散布されていたことが窺われる。

S B地区の北側に土器埋設遺構が集中する箇所がある。同じような例は、多賀城跡周辺遺跡で確認されており、これらは地鎮のために道路の傍らに埋められたものと考えられる。つまりこの近辺に祭

祀域に入るための「道」が存在した可能性が高い。また発掘調査で明らかになった斎宮邸宅跡においては、邸宅が目隠し扉に囲まれ、外部より水を引かず湧出する清浄な水のみを使用していたことが確認されている（京都市埋蔵文化財研究所『平安京右京三条二坊十五・十六町』京都市埋蔵文化財研究所調査報告書第21冊）2002（平成14年）。これは外部から水を取り入れることによって穢れが入り込むことを避けるもので、地中から湧き出る清浄な水のみを使い、使用によって穢れを帯びた水は邸宅から外部へ流し去るのみという空間構造の表れである。払田柵から厨川谷地遺跡に入るためには、沖積地（氾濫原）の河川流路をいくつも越えなければならないが、祭祀遺構群が展開する微高地は、地下から湧出する清浄な水を流す河川流路により南辺と東辺を区画されている。また微高地の西辺もS L地区（S L 407）旧河道により区画されるため、払田柵から本調査区（遺跡）に入るためには、唯一陸続きとなる方向、つまり調査区北～北西方に「道」が存在したと思われる。

### 祭器と祭祀の実態

厨川谷地遺跡では堅穴住居跡などに生活に係る遺構は皆無で、従ってこの遺跡は純粋な祭祀遺跡といえることができ、多量に出土した土類ひとつにしても、本遺跡内で食膳具として使用されたものではない。つまり出土する様々な遺物は、すべて払田柵から持ち込まれたもので、その段階で食膳具としての機能は失われている。これらは明らかな意図を持って本遺跡に持ち込まれ、出土した遺物は、形態から来る「器」「道具」としての機能よりも、払田柵で与えられていた機能に応じて取り扱われたと考えられる。

前述したとおり9世紀第4四半期における区画柵北側の区域では、軸線を共有する2棟一組の建物群が3期にわたり変遷したと考えられる。S B地区とした建物群周辺からは、底部「成」墨書須恵器坏や転用硯が多数出土した。周辺から19点出土した回転ヘラ切りによる須恵器坏も、9点は墨書土器（6点が「成」墨書）ですべて底部に墨書されており、残る1点も高台を硯に転用した高台付坏であった。これらは、最初に設けられた掘立柱建物で執り行われた祭祀に直接関係する遺物であると考えられる。このように掘立柱建物における祭祀には「成」墨書須恵器坏「墨（硯）」が関係しており、それらの土器は、「祭器として払田柵官衙ブロックで管理・使用され、機能を与えられた器」と認識されたうえで、持ち込まれたことを示している。転用硯は墨書行為に必要な不可欠な器で、器に祭祀機能を与える際に介在する道具ということで、同等に扱われたのであろう。調査区内からは坏の転用硯のみならず壺蓋類の破片を利用した転用硯も多く出土した。また蓋や二面硯なども同様で、これらは意図的に破砕された後に、特定の破片内面に墨が塗布され広域に散布されるという行為が認められる。このことから、須恵器においては、破片内面に墨を塗布することによっても祭器としての機能を付与されたことが想定できる。これは、母体が土師器であっても内面黒色処理することにより祭器としての機能を与えられる内黒土師器と同様の指向性を持っており、内面の黒色化を図っていることなのかもしれない。

このように、墨書あるいは墨の付着・塗布によっても祭器としての機能を与えられたことが想定でき、それらを最終的にS B地区に撒いた（送った）ということは、掘立柱建物で執り行われた祭祀により、祭器としての機能の変容が考えられる。つまり、S B地区の掘立柱建物は祭器の機能解除を執り行う祭祀屋であり、祭祀の後に須恵器坏などを周辺に撒く（送る）という一連の祭祀行為

が、区画柵列北側の地区で執り行われたと考えられる。甲A地区（SK532）湧水点からは木簡が多く出土し、「夙」漆書漆器も出土したことから、SB地区と併せ、文字資料の機能解除を経た遺物が撒か（送ら）れるような区域であった可能性が想定できる。また、まとまった資料ながらも回転ヘラ切りによる須恵器環が極端に少ないことから、本遺跡は9世紀第4四半期からの祭祀域であり、横瓶なども含め、払田柵官衙ブロックで伝世して使用されたものも同様に遺跡に運び込まれていたことが想定できる。区画柵列北側の祭祀屋周辺にはモモ核が集中分布する箇所があり（附図8）、祭器の機能解除の祭祀においてモモが使用されたことが明らかである。またヒョウタンが出土した箇所周辺においても、湧水点に関連する祭祀が執り行われた可能性が高い。

附図6に示したように、内黒土師器環は須恵器環と類似した出土分布を示す。須恵器および内黒土師器は、本来的には金属製の模倣で祭器としての機能を持つ器であったと考えられ、内黒土師器は須恵器を補完したものであったと思われる。厨川谷地遺跡から出土する須恵器や内黒土師器は祭器として使用されていたものが持ち込まれたものと考えられ、機能を解除して処分することを可能とする祭祀がここで執り行われたと想定できる。内黒土師器の出土分布傾向そのものは須恵器環に類似し、須恵器を補完する関係にあったと考えられるが、須恵器環の出土遺構は内黒土師器より若干少なく、遺構外遺物の分布も類似するものの、SB地区南辺中央部分にも集中する箇所がある。また乙地区においては湧水点以西の「水辺」に集中しており、湧水点を中心とした「旧河道」内に集中する内黒土師器とは集中する箇所が若干ずれている。これはSA1004・1005柵跡で区画される南側の祭祀域においては、内黒土師器環と須恵器環では、祭祀行為の最終段階で祭器を撒く（送る）場が異なることを示している。これは須恵器段階から内黒土師器段階へと漸移的に祭器が移行する「時期差」として捉えることが可能かも知れない。そしてその移行は横手盆地内で須恵器の生産が停止する9世紀第4四半期以降と思われ、微高地上に掘立柱建物および柵列が存在し、祭祀域の区画が機能していた最終段階、9世紀末～10世紀初頭までの時期に漸移的に進んだのではないだろうか。後に示す祭祀関連遺物組成表によれば、祭祀関連遺物が出土するほぼすべての遺構から内黒土師器環が出土しており、後述する灯明皿とともに祭祀に欠かせない「道具」として、小破片であっても遺構に納置されたことが想定される。このように祭器の破片を撒く（送る）ことを祭祀行為の最終段階の一要件とする祭祀形態は、平鹿郡大森町観音寺廃寺跡において確認されている。観音寺廃寺跡では12世紀代に旧河道起源の水溜りに祭祀屋を設け、かわらけや白磁などとともに伝世した須恵器の破片を祭祀土坑に納置する祭祀行為のあったことがわかっている。時期の隔たりはあるものの、祭祀形態としては出自を同一にするものと思われる。

一方、附図5に示すように須恵器壺甕類（いわゆる「袋物」）は、意図的に割られ特定の破片内面に墨を塗布したうえで、破片が広域に散布されている。これらは、十和田A火山灰を覆土に含む土坑から出土した破片と接合する個体も存在することから、10世紀第1四半期まで継続する祭祀行為と考えられる。また、払田柵官衙ブロックで伝世していたと考えられる9世紀中頃を上限とする4点の横瓶や、出土層準からより下位の古い段階に散布されたと確認できる壺甕類は、区画柵列を越えて広域に散布された状況で確認された。つまり祭祀屋を場として祭器の機能解除を執り行う祭祀については、対象が官衙ブロックで祭器として使用されたものに限定され、それと須恵器壺甕類に対して執り行われる祭祀とは区別できる可能性が高い。

横瓶を含む須恵器壺甕類を意図的に割る行為は、憑依の可能性を持つ壺甕類を意図的に壊すことで、それを避ける除災のための祭祀行為と考えられる。また、特定の破片内面に墨を塗布して広域に散布する行為は、破片内面に墨を塗布することで祭器としての機能を持たせ、憑依への禁忌をより確実にしたものと思定される。この際、破片類については、前掲した機能解除のための祭祀行為が行われな  
いと考えられる。内面に墨を塗布されたものも含め、これらの破片は結界を構成するかのよう  
に、広範囲に散布されている。また完形にはならず、部分的に欠損した接合状況から、壺甕類は殆どが不完全な形態で持ち込まれたことも想定できる。つまり須恵器壺甕類については伝世品も多く持ち込まれている可能性が高い。

祭祀に関連する汎用的な遺物としては、遺構内外から多量に出土した灯明皿があげられる。遺構外から出土する灯明皿は、灯明皿が出土している遺構のごく周囲にのみ限定でき、灯明皿の出土分布は基本的に遺構位置に従うことが想定できる。つまり、特定の凹地で祭祀を執り行う際には、その場所で灯火行為がなされ、多賀城跡周辺遺跡と同様に万灯会など祭祀に伴う灯火行為での使用が想定できる。灯明皿については、簡単な掘形を設けるか、または単に祭祀の際に傍らに置かれた形で灯火行為が執り行われた可能性がある。また、坏が2個重なった状態で納置され、その状態で被熱し油煙が付着した灯明皿や、灯芯を使用せずに直接灯明油を容れて灯火したと思われる状況を示す個体も多い。前述したように、須恵器壺甕類を中心として墨の塗布により祭器としての機能が付与される場合があるが、第21図1のように土師器鍋甕類においては、破片に油煙を付着させることにより祭器としての機能を付与し、同様に広域に散布する複数の例が確認できる。つまり、土師器の場合は油煙により特定破片が黒色化され、祭器としての機能が与えられる。これは、土師器鍋甕類が本来的には直接竈にかける煮炊具であり、竈神に最も近い器であることも関係しているのかもしれない。

灯明皿は遺構外でも唯一、乙A地区湧水点周辺に集中箇所が存在し、4グリッドの範囲から358点  
が出土した。この湧水点は、遺構としての番号は附されていないが、前掲甲A地区湧水点（SK532）  
同様、単独で祭祀の対象となっていることがわかる。つまり、この湧水点は区画柵列より南側の祭祀  
域における主要な「送り」の場であり、「祭壇」的な使用が想定できる。これは10世紀代に入り掘立  
柱建物・柵列が滅失した後に、河川流路に囲まれた微高地全体が単一の祭祀域と使用される段階に至っ  
ても同様である。

同様の箇所から「凧」墨書土師器19点が集中出土した。19点はすべて体部に墨書され、うち7点は  
体部倒位に墨書されている。「凧」は土師器坏体部にのみ墨書される文字記号であるが、体部への墨  
書行為は土師器全般にみられる傾向で、祭祀に供する器として生産された土師器坏の一群が持ち込ま  
れ、現地で墨書行為が行われたためと考えられる。つまり、土師器坏については墨書行為を行うこと  
により祭器としての機能が与えられ、祭器として使用した後は口縁を打ち欠くことによって器として  
の機能を停止させたものと思われる。この口縁の打ち欠き行為は多数出土した土師器だけでなく、内  
黒土師器や須恵器坏でも確認でき、一連の祭祀行為に組み込まれた機能停止のための汎用的な手続き  
であったと考えられる。また、墨書土器を中心に坏底部から大きく割られた個体も一定量出土したが、  
これらについても同様の意図を持った祭祀行為の一部と思われる。

第101図1のように、漆器に墨書土器同様の「凧」を漆書きしたものが存在することにより、漆器  
製作の工程上にも祭祀に係る部分が介在した可能性が高い。これは漆塗などが出土していることから、

漆器製作そのものが弘田柵において行われており、その作業も単なる食膳具の製作という段階から一段階上の、祭器である「黒色木製容器」の製作に係るものであった可能性も想定される。また、フィゴの羽口や鉄滓の出土からも、弘田柵の工房域における操業そのものに、何らかの儀礼が介在したことを示唆する可能性が想定される。該期の弘田柵で進められた様々な施策の側面を表しているといえよう。

また、出土した漆紙に墨書文字のあるものが皆無であり、漆容器の蓋紙への未使用紙の使用、あるいは未使用部分の大きい紙の使用が想定できるが、これは不用意に「文字」が祭祀域へ入ることを極力避け、蓋紙にさえも文字が入ることを禁忌していた可能性も想定できる。

十和田 a 火山灰は915（延喜15）年の十和田火山の大噴火に伴う降灰と考えられており、弘田柵跡でも「白色火山灰」として確認されている。厨川谷地遺跡においても複数の遺構で確認されたが、主たる遺構確認面であるⅢ層上部に包含されており、河川による運搬・堆積作用が活発化する9世紀第4四半期～10世紀第1四半期の最末期に降灰があったことが確認できる。また、Ⅲ層上面で検出された遺構のうち、祭祀関連遺物が多量に出土するC類型とした祭祀土坑で、十和田 a 火山灰の2次堆積ブロックが覆土中に堆積する例が多く確認され、降灰後まもなく埋没したことがわかる。SK179A・B土坑においては、十和田 a 火山灰がプライマリーに堆積した自然凹地（SK179B）と重複して、新しい人為土坑（SK179A）の覆土上部に火山灰ブロックが2次的に堆積する例が確認され、これら的人為土坑が十和田 a 火山灰降灰後まもなく掘削され、祭祀が執り行われたのち瞬間に埋没してしまったことがわかった。つまり、これら人為的に掘削された祭祀土坑については、十和田 a 火山灰の降灰に伴って掘削され、祭祀を執り行ったのちにすぐ埋没したこととなる。この一群の人為土坑は、おそらく十和田 a 火山灰の降灰に対する畝えなどの祭祀に際して掘削され、祭祀が執り行われたのであろう。

つまり、区画柵列北側の湧水点は官衙ブロックで使用されていた祭器の機能解除に伴う祭祀に関連し、南側の湧水点は畝えを始めとする律令祭祀、いわゆる水辺の祭祀に関連する場として捉えられる。後者からは前掲した硬質土師器坏が数多く完形で出土したが、これらも祭祀行為に伴う一括遺物の可能性が高い。また、広域接合須恵器壺甕類については、区画柵列北側の区域で破砕され、一部の破片内面に墨を塗布したうえで微高地周辺に広く散布されたことが確認できた。詳細については末項「祭祀遺物の組成と詳細」で説明を試みる。

### 墨書土器の分布

墨書・刻書・ヘラ書などによる記銘のある遺物は、墨書336点・ヘラ書28点・刻書21点・漆書1点で、合計386点が出土した。また木製品でも呪符木簡2点・木簡4点・木簡を転用したと考えられる墨痕を有する斎串1点が出土し、合計393点の文字関連資料が厨川谷地遺跡から出土した。

狭義の墨書土器（墨書による記銘のある土器）336点の内訳は、内黒土師器10点・土師器249点・須恵器77点で、圧倒的に土師器が多い。ここでは木簡類を除く386点について考察する。

前項で説明したとおり、墨書須恵器坏はS B地区に出土する傾向が強く、最下面であるⅣ層上面で検出された柱穴で構成される祭祀屋に密接に関係する。また底部に「成」を墨書する例が圧倒的に多く、弘田柵官衙ブロックで吉祥句「成」が墨書され管理・使用されていた一群が持ち込まれたと考え

られる。回転ヘラ切りの須恵器環は19点出土し、底部に墨書された9点のうち6点が「成」であった。つまり払田柵から古い段階に持ち込まれた遺物のひとつが、回転ヘラ切りの底部「成」墨書須恵器環で、厨川谷地遺跡の区画柵列北側のS B地区において、祭器としての機能を解除する祭祀に供されたものと考えられる。

「成」墨書須恵器は体部に墨書されたものも含め44点出土し、また「成」墨書内黒土師器3点・墨書土師器30点と併せ、合計77点の「成」墨書土器が出土した。器種は環が73点を占め、そのうち38点がS B地区から出土した。土師器では半数を超える18点が体部に墨書されており、うち5点は体部倒位に墨書されることから、遺跡に持ち込まれた後に墨書された可能性が高い。「成」墨書内黒土師器・「成」墨書土師器は、「成」墨書須恵器と同様に遺跡に持ち込まれた可能性が考えられる。しかし、

A 回転ヘラ切りによる「成」墨書須恵器の一括遺物の存在

B 「成」墨書内黒土師器・土師器における墨書部位の違い

などから、内黒土師器・土師器については祭祀の際に現地で「成」を墨書することにより、祭器としての機能を与えられたと考えられる。また、墨書土師器の90%以上が体部への墨書であるのに、「成」については底部への墨書が30点中11点存在する点では、「成」墨書土師器の出自を知る人々により墨書され、S B地区における祭祀が執り行われていた結果と考えられる。

このように、墨書土師器環は硬質で焼き締まりの非常に良い土師器環の一群が未使用のまま持ち込まれ、現地で墨書行為を経ることにより祭器としての機能が与えられたと考えられる。また乙地区を中心に完形の土師器環が多量に出土し、これらも同様の環であることから、祭祀に供する器として生産された土師器環が多量に持ち込まれ、祭祀行為の最終段階で一括して送られたものと考えられる。

土師器に墨書された文字記号は「成」30点・「夙」29点のほか、五芒星・九字を含む「呪い記号」や模様を墨書したものが比較的多い。「夙」は土師器環体部のみ墨書され、その部位も体部に限定される文字記号で、7点は体部倒位に墨書される。「夙」は平川南氏により「呪い記号」と指摘されており、乙A地点湧水点周囲から19点が集中して出土し、S K157土坑からも5点出土した極めて限定的な目的を持っていたと考えられる文字記号である。同様に9点出土した「夙」もS K181土坑から6点が出土した。

五芒星〔セーマン〕・九字〔ドーマン〕などの祭祀記号の類は須恵器には墨書されず、ほとんどが土師器に墨書される。墨書土師器では須恵器が比較的古い要素として捉えられるが、祭祀記号が墨書される土師器は十和田a火山灰を覆土に含む遺構からも一定量出土しており、比較的新しい要素として捉えても良いのかもしれない。

### 祭祀遺物の組成と詳細

厨川谷地遺跡から出土した遺物は、すべてが遺跡外から持ち込まれたものと考えられる。それは祭器として説明してきた祭祀関連遺物だけではなく、本来的には、遺跡に持ち込まれた様々な遺物一つ一つが祭祀に際して使用されたものとしての意味を持っていた可能性が高い。

234頁に示した祭祀関連遺物組成表は、本遺跡の遺構内から出土した様々な遺物のうち、明らかな共伴関係を把握できる遺物を抽出し組成を検討したものである。対象となった遺構は162基、最も多

くの遺構に関連した遺物は須恵器壺甕類で、97遺構から出土した。次にその傾向を列挙する。

- A 須恵器壺甕類が多くの遺構から出土しており、広域に散布された結果と思われる。
- B 灯明皿と内黒土師器は表に掲げた遺構の大部分から出土した。これは、灯明皿・内黒土師器の両者が祭祀土坑における祭祀行為に必要不可欠なものであり、様々な祭祀内容に対しても汎用的に使用されたことを示している。
- C [内黒土師器か黒色土器]と[須恵器杯か須恵器壺甕類]は共伴する事例が多く、相関関係を有する。
- D [漆紙か漆塗土器]と[土師器鍋]と[斎串]と[曲物]は共伴する事例が多く、相関関係を有する。
- E 墨書土師器と墨書須恵器は、基本的に共伴しない。祭祀に伴うものではあるが、目的の違いを示していると考えられる。
- F 墨書須恵器は下位(Ⅳ層上面～Ⅲ層下部、またはⅢ層中)の遺構から出土する傾向がある。当然、須恵器杯の出土分布とは強い相関を有する。
- G 転用硯(広域接合須恵器壺甕類破片なども含む)は当然、須恵器壺甕類と強い相関を有する。
- H 広域接合須恵器壺甕類破片に、墨書土師器が伴う事例が確実にある。

「成」墨書須恵器は、弘田柵官衙ブロックで管理・使用された一群がこの地に持ち込まれたと考えられ、区画柵列北側の区域の祭祀屋において祭器としての機能を停止した後に散布されたものと理解できる。祭祀屋として3期にわたり変遷する掘立柱建物は、初期のⅣ層上面の段階に設置されていることから、9世紀第4四半期初めの段階と考えられる。この祭祀屋周辺からは、「成」墨書内黒土師器・土師器も出土した。

一方、硬質な土師器杯の一群が多量に持ち込まれ、墨書行為を経て祭器としての機能が与えられる。また、墨書のない同様の杯についても、乙A地区湧水点を中心に完形のまま多量に出土することから、祭祀に供する器として生産された土師器杯が多量に持ち込まれていることがわかる。この段階では、S A 1004・1005柵列により区切られた南側の乙地区がその祭祀域として使用されている。湧水点を有する河川流路からは人形なども出土し、水辺を用いた律令祭祀の場であったと考えられる。

祭祀屋および祭祀域を区画していた柵列が滅失する9世紀末～10世紀初頭の段階では、南側の区域で土師器を用いて行われていた律令祭祀は微高地を含めた祭祀域全域の水辺で行われるようになる。また、広域接合須恵器壺甕類を含む、須恵器の祭器としての機能を容容させる祭祀は、墨書須恵器の機能を解除する祭祀域であったS B地区の凹地を祭祀の場として使用するが、破砕後は区画を越えて全域に散布されている。この段階では厨川谷地遺跡全域が単一の祭祀域として使用される段階であったといつてよい。

墨書土師器と墨書須恵器は、同一遺構内に共伴する事例がほとんどなく、また墨書須恵器が下位の遺構に対する相関を持つことから、これは時期差として捉えることができるのかもしれない。つまり「成」を始めとする墨書須恵器のほとんどは、弘田柵官衙ブロックで「墨書土器」として管理・使用されていたものを持ち込んだもので、現地で墨書行為がなされた墨書土師器とは根本的に性格が異なる可能性が高い。墨書土師器でも第84図3や第80図5の様に下位の遺構から出土したものについては、



第6章 まとめ

遺構内出土祭祀関連遺物組成表(1)

遺構No.	地区	十和田 灯明堂 内裏土師器	須賀野 須賀野 須賀野	紅 土	遺 構 内 土 師 器	遺 構 内 土 師 器	遺 構 内 土 師 器	非 口 ワ 口 土 師 器	土 師 器 類	須 賀 野 土 師 器	形 代	曲 物	遺 物	ヒ ム コ シ ノ ヒ
SL 6	排水路「イ」		◎	◎	◎									
SL 8	排水路「イ」		◎	◎	◎									
SK 22	竈「B」		◎	◎	◎									
SK 23	竈「B」		◎	◎	◎									
SK 31	竈「B」		◎	◎	◎									
SK 81	竈「B」	◎	◎	◎	◎									
SK 102	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 103	竈「C」Z8	◎	◎	◎	◎									
SK 104	竈「C」Z8	◎	◎	◎	◎									
SK 105	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 106	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 107	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 108	竈「C」Z8	◎	◎	◎	◎									
SK 113	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SKP 114	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 116	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SKP 121	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SKP 122	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 124	竈「C」Z8	◎	◎	◎	◎									
SK 144	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 150	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 151	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SKP 152	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 153	竈「C」SL													
SK 154	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 155	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 156	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 157A	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 157B	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 158	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 159	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 160	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 163	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 165	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 166	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 167	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 168	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 170	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 171	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 172	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 174	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 175	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 176	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 177	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 178	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 179	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 179B	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 180	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 181	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 183	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 185	竈「C」SPA	◎	◎	◎	◎									
SK 187	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 183	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 195	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 198	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 199	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 201	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SKP 202	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 204A	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 205	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 209A	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 210	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 211	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 212	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 224A	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 227	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 228	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 229	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 230	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 231	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 232	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 233	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 234	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 235	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 238	竈「C」Z8	◎	◎	◎	◎									
SK 240	竈「C」Z8	◎	◎	◎	◎									
SKP 246	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SKP 248	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SKP 250	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 253	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 254	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 255	竈「C」SL	◎	◎	◎	◎									
SK 262	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 263	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 265B	竈「C」SB	◎	◎	◎	◎									
SK 266	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 268	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 269	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									
SK 270	竈「C」その他	◎	◎	◎	◎									



れる。

また、915（延喜15）年とされる十和田火山の大噴火による十和田a火山灰の降灰に際しては、従来、自然凹地を使用していた祭祀が、人為的に土坑を掘削したうえで集中的に執り行われるようになる。前項でも説明したが、人為的に掘削された土坑からは、多量の祭祀関連遺物およびその上位に火山灰の二次堆積ブロックが堆積していることから、掘削した土坑で祭祀を執り行ったものの、ごく短期間に埋没してしまったことが明らかである。つまり、人為的に掘削した土坑については、降灰に際して設けられた特別の祭場（祭壇）であり、祭祀の目的が明確に確認できる一例である。

次頁に示した出土土器量比較表により、出土重量比および口縁・底部破片出土点数比から、調査区内各地区の祭祀域における「場」としての使用実態をまとめてみた。この表では遺構外出土遺物のみを集計対象とし、また土師器環を中心に註記不能な小破片は一律に除外した。土師器環および鍋甕類点数は他の遺物から計算した参考値であるが、統計的に比較検討するうえでは問題はない。また、「甲A」・「甲B」、「乙A」・「乙B」、「SB」、「SL」の6地区に該当しないグリッドから出土した遺物は、「その他」として一括しているため、比較対象からは除外した。

表の内容から、各地区分からの出土比率に関係する事象をまとめると、次のようになる。

- A 内黒土師器環は重量比で  $[乙A > 乙B \geq SB]$  だが、口縁点数比では  $[乙A > SB > 乙B]$  となる。SB地区の口縁点数比が高くなる理由としては、SB地区で内黒土師器環の口縁打ち欠きが行われた結果と考えられる。
- B 土師器環は重量比で  $[乙A > SB > 乙B]$  で、口縁点数比・底部点数比も同様の傾向を示す。乙A地区およびSB地区など、祭祀の場として使用された頻度の高さに比例した結果と考えられる。
- C 土師器鍋甕類は重量比で  $[乙A \geq SB > 乙B]$  だが、口縁点数比・底部点数比では  $[SB > 乙A > 乙B]$  となる。SB地区の口縁点数比・底部点数比が高くなる理由としては、SB地区で土師器鍋甕類の破砕が行われた可能性が高い。その際、破砕した破片のうち主として胴部破片が祭祀域の周縁部に散布されている。土師器鍋甕類は本来的には直接竈にかける煮炊具であり、竈神に最も近いことも関係し、油煙を用いてはいるが須恵器壺甕類と同様の祭祀が執り行われたものと考えられる。
- D 須恵器環は重量比で  $[SB > SL > 乙B]$  で、口縁点数比・底部点数比も同様の傾向を示す。須恵器環はSB地区に集中して出土する。祭器としての機能を解除する祭祀の後に、祭祀屋の周囲に撒かれたのであろう。
- E 須恵器壺甕類は重量比で  $[乙A > SB > 乙B]$  だが、口縁点数比では  $[SB > 乙A > 乙B]$ 、底部点数比では  $[SB > 乙A > 乙B = SL]$  となる。SB地区の口縁点数比・底部点数比が高くなる理由としては、SB地区で須恵器壺甕類の破砕が行われた可能性が高い。その際、破砕した破片のうち主として胴部破片が祭祀域の広域に散布されている。前述したとおり悪依の可能性を持つ壺甕類（袋物）を意図的に壊すことで、それを避ける除災のための祭祀行為と考えられる。また特定破片内面に墨を塗布し、破片に祭器としての機能を持たせ、悪依への禁忌を確実にしたのであろう。

厨川谷地遺跡では内黒土師器環が須恵器環より多く出土した。弘田柵跡調査事務所の高橋学芸芸士

重量	甲A地区	甲B地区	乙A地区	乙B地区	S B地区	S L地区	その他	合計	点数	一点重量(g)
内黒土師器(g)	287.9	186.2	2,626.8	1,947.0	1,852.1	972.2	3,051.0	10,923.2	2,288	4.77
(%)	2.6	1.7	24.0	17.8	17.0	8.9	27.9	100.0		
土師器坏(g)	10,741.5	8,747.8	102,038.4	50,414.7	71,280.9	20,699.6	101,214.5	365,137.4	76,483	4.77
(%)	2.9	2.4	27.9	13.8	19.5	5.7	27.7	100.0		
土師器破変(g)	7,079.0	6,484.8	58,778.9	37,482.1	58,511.1	17,636.3	88,751.6	274,723.8	18,689	14.70
(%)	2.6	2.4	21.4	13.6	21.3	6.4	32.3	100.0		
須恵器坏(g)	62.7	9.1	317.3	853.9	2,887.3	1,161.3	1,841.4	7,133.0	1,279	5.58
(%)	0.9	0.1	4.4	12.0	40.5	16.3	25.8	100.0		
須恵器破変(g)	1,180.3	1,056.8	8,092.4	4,573.0	6,921.6	1,512.7	13,942.8	37,279.6	2,171	17.17
(%)	3.2	2.8	21.7	12.3	18.6	4.1	37.4	100.0		

口縁点数	甲A地区	甲B地区	乙A地区	乙B地区	S B地区	S L地区	その他	合計
内黒土師器	45	24	402	282	347	170	467	1,737
(%)	2.6	1.4	23.1	16.2	20.0	9.8	26.9	100.0
土師器坏	484	359	4,377	2,188	2,666	821	3,802	14,697
(%)	3.3	2.4	29.8	14.9	18.1	5.6	25.9	100.0
土師器破変	69	48	392	244	429	133	589	1,904
(%)	3.6	2.5	20.6	12.8	22.5	7.0	30.9	100.0
須恵器坏	7	2	48	144	422	155	293	1,071
(%)	0.7	0.2	4.5	13.4	39.4	14.5	27.4	100.0
須恵器破変	52	46	285	201	381	75	545	1,585
(%)	3.3	2.9	18.0	12.7	24.0	4.7	34.4	100.0

※遺構内出土遺物は除外し、遺構外出土遺物のみを集計した

※註記不能な小破片は一律に除外した

※土師器坏点数は、内黒土師器の値を緩用した計算値

底縁点数	甲A地区	甲B地区	乙A地区	乙B地区	S B地区	S L地区	その他	合計
内黒土師器	10	7	74	47	46	28	101	313
(%)	3.2	2.2	23.6	15.0	14.7	8.9	32.3	100.0
土師器坏	378	315	2,996	1,540	2,245	571	3,603	11,648
(%)	3.2	2.7	25.7	13.2	19.3	4.9	30.9	100.0
土師器破変	31	41	374	270	493	114	734	2,057
(%)	1.5	2.0	18.2	13.1	24.0	5.5	35.7	100.0
須恵器坏	2	-	10	25	73	40	67	217
(%)	0.9	0.0	4.6	11.5	33.6	18.4	30.9	100.0
須恵器破変	1	2	9	7	20	7	34	80
(%)	1.3	2.5	11.3	8.8	25.0	8.8	42.5	100.0

※土師器破変点数は、坏(土師器/須恵器)の重量比を緩用した計算値

事によれば、近年の払田柵跡沖積地部分の発掘調査では「内黒土師器：土師器：須恵器」の出土点数比（須恵器坏を1とした場合）は、概ね〔（+）：4：1〕程度で、内黒土師器は数点出土するのみという。厨川谷地遺跡においては〔2：60：1〕程度となり、須恵器坏1,279点に対し内黒土師器2,288点、土師器が76,483点と、膨大な量が出土した。

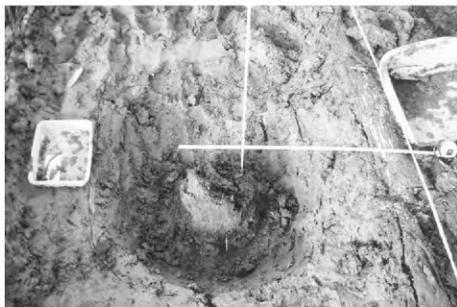
厨川谷地遺跡出土の遺物が遺跡外から持ち込まれたことは明らかであるが、内黒土師器・土師器の出土量を考えると、払田柵からすべてが供給されたと考えことは困難である。特に土師器については、前述のとおり祭器として使用する目的で生産される一群が確実に存在していることから、未使用のものが生産地から直接厨川谷地遺跡に供給されたと考えることが、むしろ自然である。

9世紀第4四半期には須恵器坏の供給が廃れ、その果たしていた祭器としての役割は内黒土師器へ漸移的に移行していくと思われる。出土分布状況からも、須恵器を補完する器としての機能を果たしたことが窺えることから、内黒土師器の点数が須恵器坏よりも卓越するのは、やはり生産された内黒土師器のほとんどが、厨川谷地遺跡に供給されたことを物語っているのではないだろうか。

城柵官衙遺跡である払田柵に須恵器を供給したのは、周辺丘陵域に設置された官窯からと考えられる。しかしその60倍もの量の土師器を供給するためには、それ以上の土師器焼成窯群および薪炭材を供給するための広大な森林が必要となる。その位置はいまだ不明であるが、本遺跡でⅢ層と呼称する河川堆積物には大型の炭化物が多量に含まれており、それらは東～北東方の丘陵域（奥羽山脈西麓）から河川により運搬され、堆積したものと考えられる。そこで行われた森林の伐採を伴う大規模な開発行為は、土師器焼成に係る大規模な生産活動と無関係ではなかったのではないだろうか。

## 報告書抄録

ふりがな	くりやがわやちいせき							
書名	厨川谷地遺跡							
副書名	県営ほ場整備事業（土崎・小荒川地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	I							
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第383集							
編著者名	三上喜孝・五十嵐一治・赤上秀人							
編集機関	秋田県埋蔵文化財センター							
所在地	〒014-0802 秋田県仙北郡仙北町払田字牛嶋20番地 電話 0187-69-3331							
発行年月日	西暦2005年3月							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		㎡	
<small>くりやがわやちいせき</small> 厨川谷地遺跡	<small>あきたけんせんぼくごん</small> 秋田県 仙北郡 美郷町 土崎字 厨川谷地4-1外	05432	54-3	39° 27' 48"	140° 33' 40"	20010514 ～ 20011126	9,100㎡	農業関連
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
祭祀遺跡	平安時代	土坑 柱穴 土器埋設遺構 溝状遺構 掘立柱建物跡 柵列跡 旧河道		内黒土師器 土師器 須恵器 墨書土器 灰釉陶器 緑釉陶器 木製祭祀具（人形・斎串・刀形・鬲物・形代・箸状木製品・棒状木製品） 木製品（漆器・曲物・糸車）		国指定史跡払田柵跡の祭祀域		



SK P 538柱穴 検出状況 (南から)



SK P 538柱穴 柱材 (北から)



SK P 604柱材 端部



SK P 604柱材 検出状況 (東から)



小雪の舞う弘田柵跡をのぞむ (南東から)



S K 107土坑 遺物出土状況 (南西から)



S K 107土坑 凹地への自然堆積層 (北から)



S K 107土坑 隔物出土状況 (西から)



S K 113土坑 人為的に掘削した土坑への  
自然堆積層 (東から)



S K 113土坑 斎串出土状況 (東から)



S K 154土坑 凹地への自然堆積層 (南から)



S K156土坑 遺物出土状況（東から）



S K157A土坑 遺物出土状況（東から）



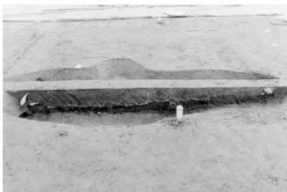
S K157A・B・S K160土坑 半截状況（西から）



S K157A・B・S K160土坑 半截状況（北から）



S K157B土坑 遺物出土状況（東から）



S K168土坑 半截状況（南から）





S K 179A・B土坑 半截状況（西から）  
自然凹地と重複して新しい土坑が掘削されている



S K 180土坑 斎串出土状況（西から）



S K 181土坑 遺物出土状況（東から）



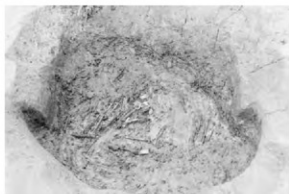
S K 205土坑 遺物出土状況（南から）



S K 205土坑 斎串出土状況（西から）



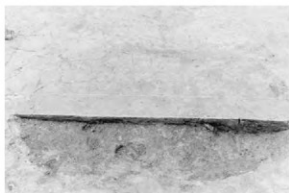
S K263土坑 半截状況 (南から)



S K263土坑 串・箸状木製品出土状況 (南から)



S K276土坑 半截状況 (南から)



S K302土坑 炭化物堆積状況 (東から)



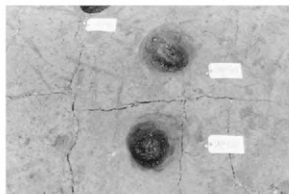
S K350土坑 遺物出土状況 (北西から)



S K361土坑 遺物出土状況 (北東から)



S K 403土坑 漆紙出土状況 (東から)



S K P 319・321柱穴 柱穴検出状況 (南から)



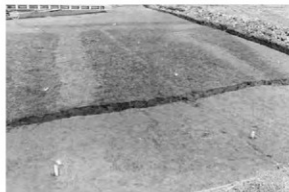
S R 362土器埋設遺構 遺物出土状況 (北東から)



S R 398土器埋設遺構 遺物出土状況 (北から)



M A 38 III層中 根株検出状況 (南から)



範囲B東側 旧水田区画 検出状況 (南から)



人為的に掘削されたS K181土坑の覆土下部からは  
木製祭祀具とともに多くのクルミ核が出土した



旧河道周辺に群をなす自然凹地（南から）



人為的に掘削された土坑も  
不整形のものが多い（南西から）



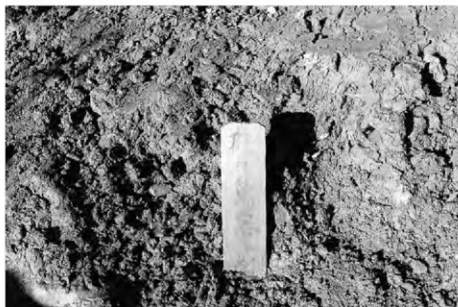
旧河道は現在でも地下水位が高い（西から）



調査状況（北東から）



調査状況（北から）



L R41 III層 呪符木簡（上半部）出土状況（南から）



L R41 III層 呪符木簡（下半部）  
出土状況（北西から）



L T39 III層 人形出土状況（東から）



L R42 III層 火鑽白出土状況（南西から）



L Q42 III層 菰碓出土状況（南から）



L R42Ⅲ層 斎串出土状況（西から）



L S40Ⅲ層 斎串・曲物出土状況（南から）



MD44Ⅲ層 「成」墨書須恵器坏出土状況（南から）



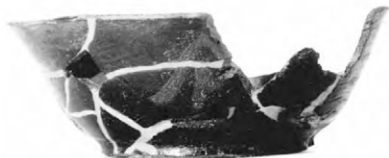
MD44Ⅲ層 「成」墨書須恵器坏出土状況（東から）



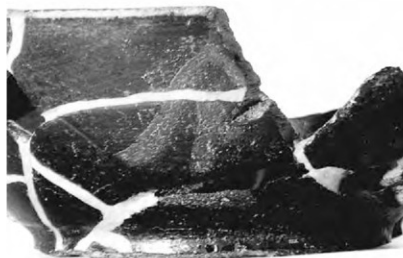
L R41Ⅲ層 須恵器小壺出土状況（南から）



L Q42Ⅲ層 須恵器壺甕類 出土状況（西から）



「夙」漆書漆器



「夙」は「夙」と記されている



土師器蓋

縮尺不同



内黒土師器杯 銀化している



漆容器として使用された土師器杯



漆容器として使用された土師器杯



土師器・黒色土器・須恵器の小壺



灯明皿に転用された土師器高台付鉢



土師器鍋

縮尺不同





「凡」墨書土師器杯



「☆」墨書土師器杯



「調酒」墨書土師器杯



体部内面に習書のある墨書土師器杯



「大」ヘラ書須恵器蓋



「×」ヘラ書須恵器蓋

縮尺不同



「成」墨書須恵器蓋



広域接合須恵器壺の一例  
一部の破片内面に墨が塗布される



斎串 刀子で切り込みを入れてから  
折られたものもある



人形 腕の部分はつくり出していない



漆器杯



木製容器皿



第一号木简 表



裏



第二号木简



第三号木简



第五号木简



第四号木简 表



裏



第六号木简 表



裏

弘田柵出土 一号木簡

件獨請乃同四月廿六  
寺者生仙氏益

弘田柵出土 二号木簡

有求隊長書方簡

有求隊長書方簡

弘田柵出土 三号木簡

有求隊長書方簡

有求隊長書方簡

弘田柵出土 十七号木簡

拜申請備約

弘田柵出土 十三号木簡

有求隊長書方簡

有求隊長書方簡



題籤とは今でいう「インデックス」であり、題籤部分には文書の内容に関わる記載がなされる。本木簡に記載されている「伊福部弓継」は人名である。なお、東北地方における「伊福部（五百木部）」の分布に関しては、『日本後紀』延暦十六年（七九七）正月条に「日理郡人五百木部黒人」に「大伴日理連」を賜姓したという記事がみえるほか、多賀城跡出土十一号漆紙文書の断片に「五百木部山□（年卅八 正丁）」とみえるのが確認される（『多賀城漆紙文書』宮城県多賀城跡調査研究所）。

近年、題籤軸は地方官衙などからも出土しているが、題籤部分に人名を書いた例としては、次のようなものがある。

○多賀城市山王遺跡出土木簡（『木簡研究』一六〇）

- ・「解文部
- ・「会津郡

（二八九）×四六×七 ○六一型式



○山形県米沢市古志田東遺跡出土木簡（『木簡研究』二二六）

- ・「有宗
- ・「案文

（四五）×二〇×七 ○六一型式

このように「益継」「有宗」など、題籤部分に人名を記載する例がみられ、これらの人物が文書の作成に関与していたことが記載内容からわかる。本木簡も、伊福部弓継が作成、発行、受取などに関与していた文書が巻かれていたことを示しているのであろう。だが題籤軸が本遺跡から発見されたことは、文書の作成がこの地で行われていたことを直ちに示すものではないことに注意する必要がある。反古になった紙の文書を何らかの目的で再利用する際に、題籤軸が付いたままの状態でも再利用されてもたえられる可能性も想定されるからである。本木簡の場合も、弘田柵で作成され不要になった文書が、題籤軸が付いたままこの地にもたらされ、紙が何らかの目的で再利用される際に、題籤軸が廃棄されたともみえることができる。とすれば題籤軸と本遺跡との直接的な関連は認められないことになる。先に述べた一号木簡の例も考えあわせると、本遺跡から出土する木簡については、弘田柵との関連を常に念頭に置いておく必要があるだろう。

厨川谷地遺跡出土木簡

山形大学人文学部 三上 喜寿

第一号木簡

〔釈文〕

□解 申請 □□ 出箱糧□額 □□□□  
 卅伍□生□无

〔形状〕

上下端は欠損している。刀形木製品に転用しているため、側面は原形をとどめてはいないが、原形の幅をさほど損なわずに加工をしているとみられる。

なお、木簡を刀形木製品に転用した例としては、神奈川県茅ヶ崎市居村B遺跡出土木簡、東京都足立区伊興遺跡出土木簡などがある。

〔内容〕

表裏両面に文字が確認されるが、表裏の記載の関係は不明である。オモテ面は「解申請」で始まる、いわゆる解文木簡であることがわかる。申請内容は明確ではないが、「種」「糧」「額」などの文字が確認できることから、糧米の申請に関する内容と推定される。糧米を、額種の形で出給することを申請したものか。とすれば、兵士の糧米申請に関わる木簡である可能性がある。

厨川谷地遺跡が祭祀を主体とする遺跡であるとするれば、本木簡はこの地で機能していたものではなく、隣接する弘田柵跡で機能していた木簡が、何らかの事情でこちらに持ち込まれ、刀型木製品に転用された可能性がある。以下、その点について検討してみる。

〔考察〕

解文木簡や糧米に関わる木簡は、本遺跡に隣接する弘田柵跡からこれまで出土しており、本遺跡出土の木簡も、弘田柵跡出土の木簡と関わらせて理解する必要がある。

○弘田柵跡出土一号木簡  
 × 一 件編取 閏四月廿六日 寺書生仙□氏監

文書の冒頭については不明だが、「請取」の文字から、権を受領したことを内容とする

木簡か。あるいは目下署名がみえることから、解文木簡である可能性がある。

○弘田柵跡出土二号木簡

・ 陸海部少隊長解 申進 □□□□

・ □六月十二日 少隊長春日□糶

二九四×二九×七 ○一型式

解の書式をとる軍団関係の貢進（「目目は不明」）文書と考えられる。

○弘田柵跡出土三号木簡

・ 一十火大粮 二石八斗八升

・ 一斗八升

一合

(一五三)×(三三)×五 ○一九型式

「十火」「大粮」などの語がみえる。公粮の請求文書と考えられる。

○弘田柵跡出土一三号木簡

× 一 解 申請 □□ □ ×

(七五)×(三三)×三 ○八一型式

解文木簡の断片。

○弘田柵跡出土一七号木簡

× 解 申請借糧 ×

(一一二)×(三三)×四 ○八一型式

種の借り入れを申請した木簡。「借錢解」(借金証文)に相当するものか。

これまでに弘田柵跡で出土した解文木簡を観察すると、木簡の幅が二一・三ミリ程度で共通している点特徴である。その点で、きわめて規格性の高い作り方をしている。今回、厨川谷地遺跡で出土した解文木簡の幅も、(原形をほぼとどめているとすれば)二三ミリであり、これまた弘田柵跡で出土した解文木簡の幅とほぼ一致する。つまり本木簡は、弘田柵跡で出土する解文木簡に共通する形状を呈しており、その点からも、本木簡が本来は弘田柵跡で機能していたものである可能性がきわめて高いといえよう。

第四号木簡

〔釈文〕

・ 「伊福部

・ 「司糶

(一七二)×(一七)×一〇 ○六一型式

形状から、文書を巻き付けるための軸の軸の上部に題籤がついた「題籤軸」と考えられる。

秋田県文化財調査報告書第383集

**厨川谷地遺跡**

一 県営ほ場整備事業(土崎・小荒川地区)に係る  
埋蔵文化財発掘調査報告書 I 一

印刷・発行	平成17年3月
編 集	秋田県埋蔵文化財センター 〒014-0802 仙北郡仙北町払田字牛嶋20番地 電話 0187-69-3331
発 行	秋田県教育委員会 〒010-8580 秋田市山王三丁目1番1号 電話 018-860-5193
印 刷	株式会社 仙北印刷所



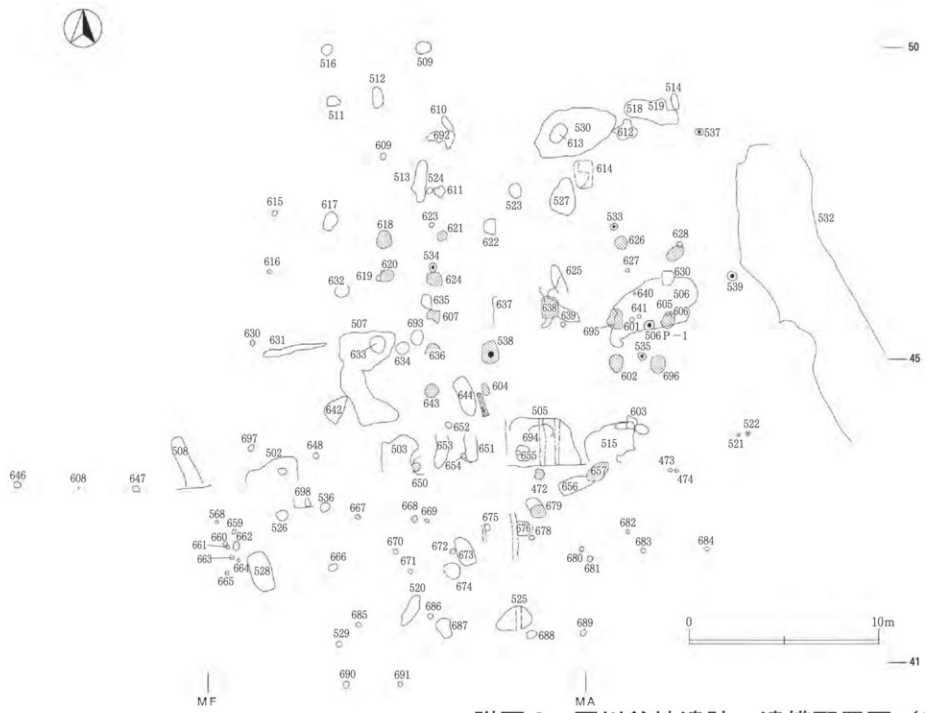
附図1 厨川谷地遺跡 調査区配置図  
遺構配置図 (1)



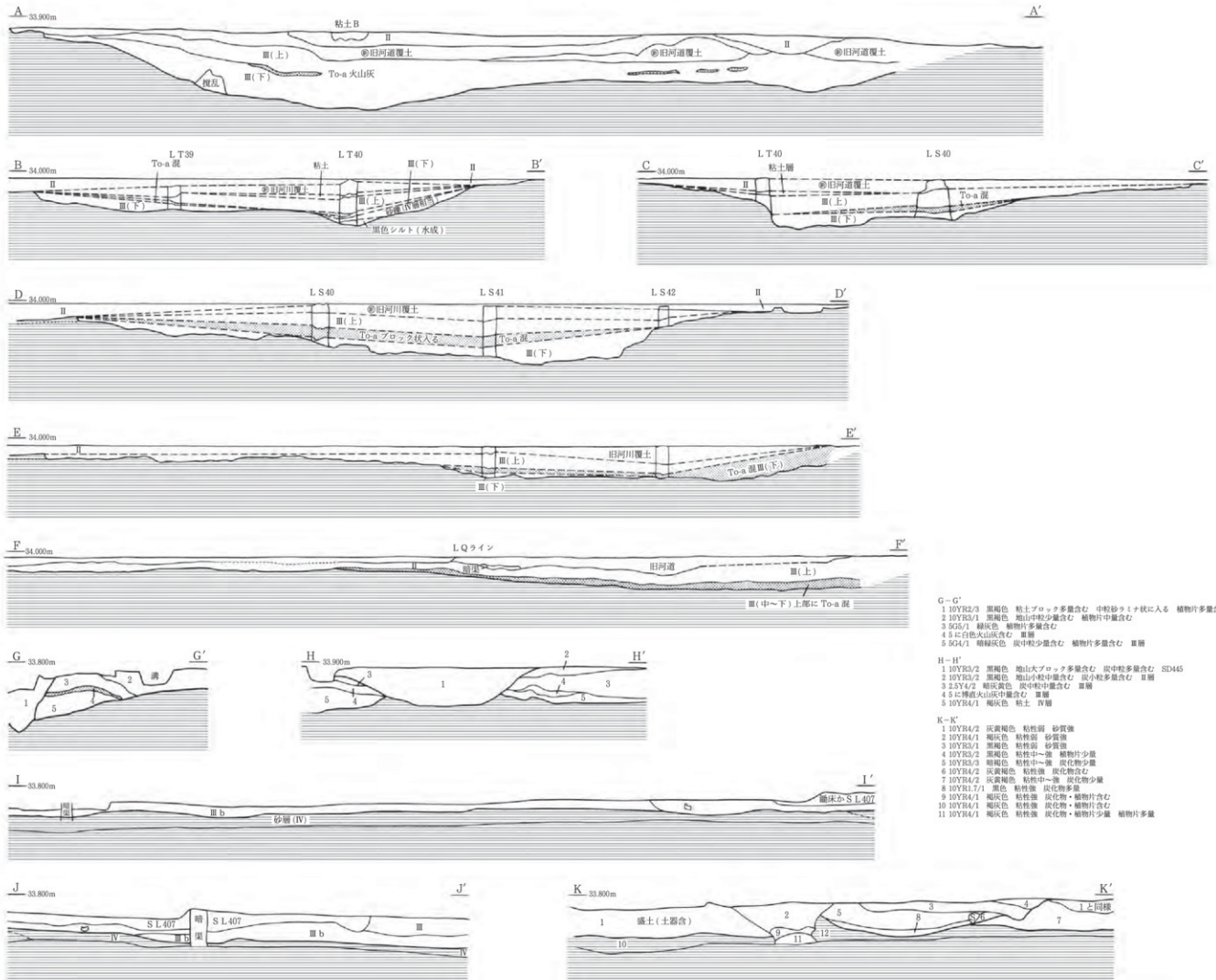


附图2 厨川谷地遺跡 遺構配置図(2)



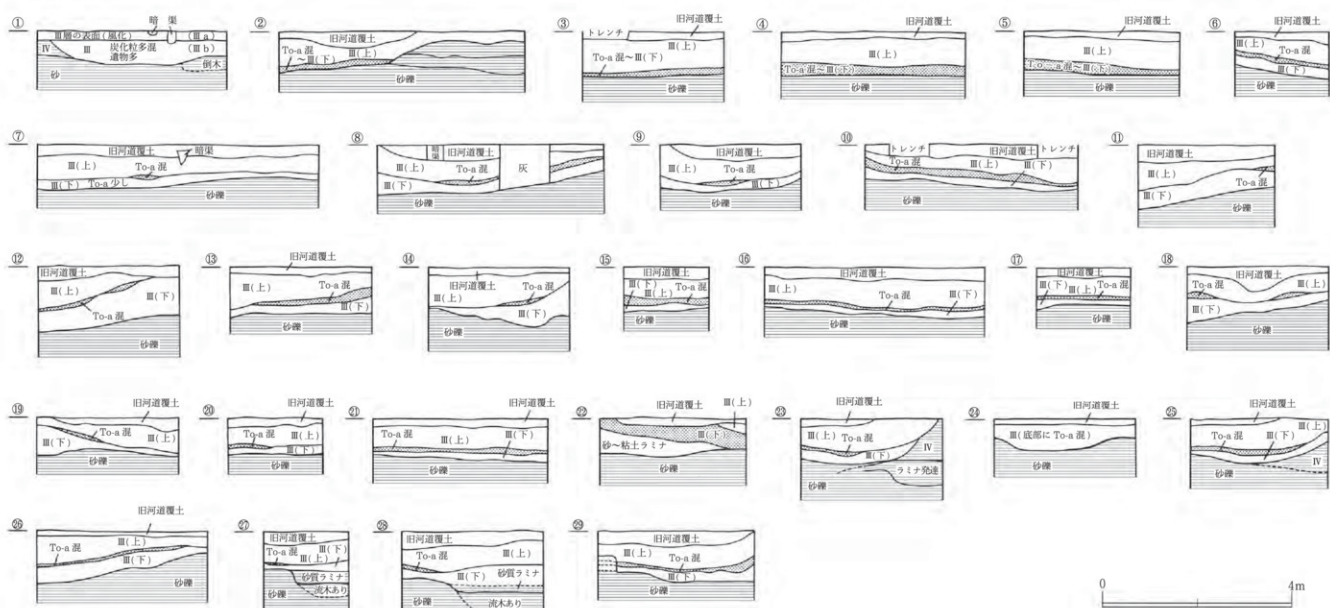


附図3 厨川谷地遺跡 遺構配置図(3)  
IV層上面~III層下部



- G-G'
- 10YR2/3 黒褐色 粘土プロット多量含む 中粒砂ラミナ状に入る 植物片多量含む
  - 20YR2/1 黒褐色 粘土中粒少量含む 植物片中量含む
  - 5G5/1 緑灰色 植物片多量含む
  - 5 白色火山灰改良 量層
  - 5 5G4/1 緑褐色 灰中粒少量含む 植物片多量含む 量層
- H-H'
- 10YR2/2 黒褐色 粘土大プロット多量含む 灰中粒多量含む SD45
  - 20YR2/2 黒褐色 粘土中粒中量含む 灰中粒多量含む 量層
  - 2.5Y4/2 緑灰色 灰中粒中量含む 量層
  - 5 白色火山灰改良 量層
  - 10YR4/1 褐色 粘土 IV層
- K-K'
- 10YR4/2 灰褐色 粘土弱 砂質強
  - 10YR4/1 褐色 粘土弱 砂質強
  - 10YR4/1 褐色 粘土弱 砂質強
  - 10YR2/2 黒褐色 粘土中-強 植物片少量
  - 10YR2/2 黒褐色 粘土中-強 炭化物少量
  - 10YR4/2 灰褐色 粘土強 炭化物含む
  - 10YR4/2 灰褐色 粘土中-強 炭化物少量
  - 10YR1/1 黒色 粘土強 炭化物多量
  - 10YR4/1 褐色 粘土強 炭化物・植物片含む
  - 10YR4/1 褐色 粘土強 炭化物・植物片含む
  - 10YR4/1 褐色 粘土強 炭化物・植物片少量 植物片多量

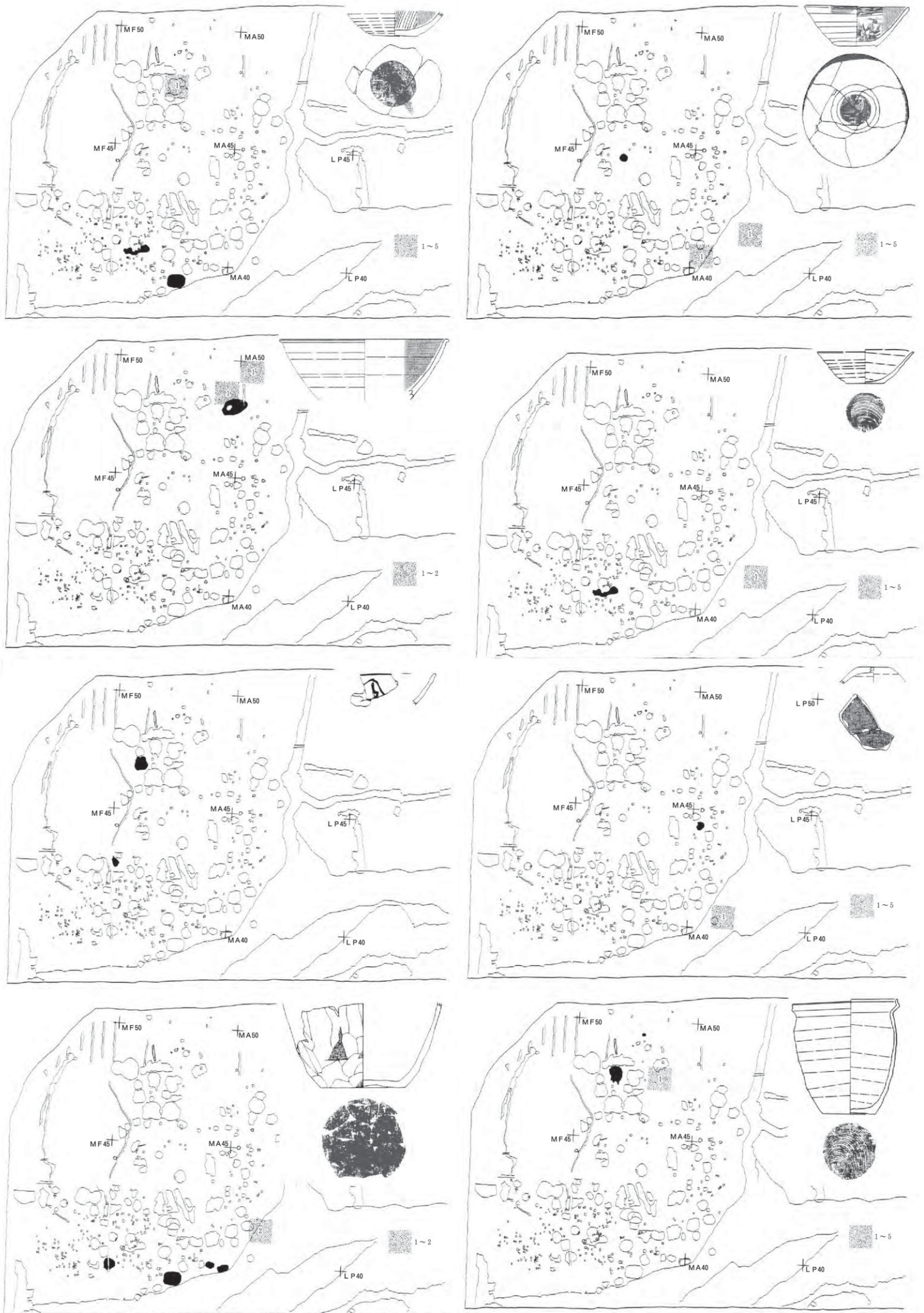
0 2m



0 4m

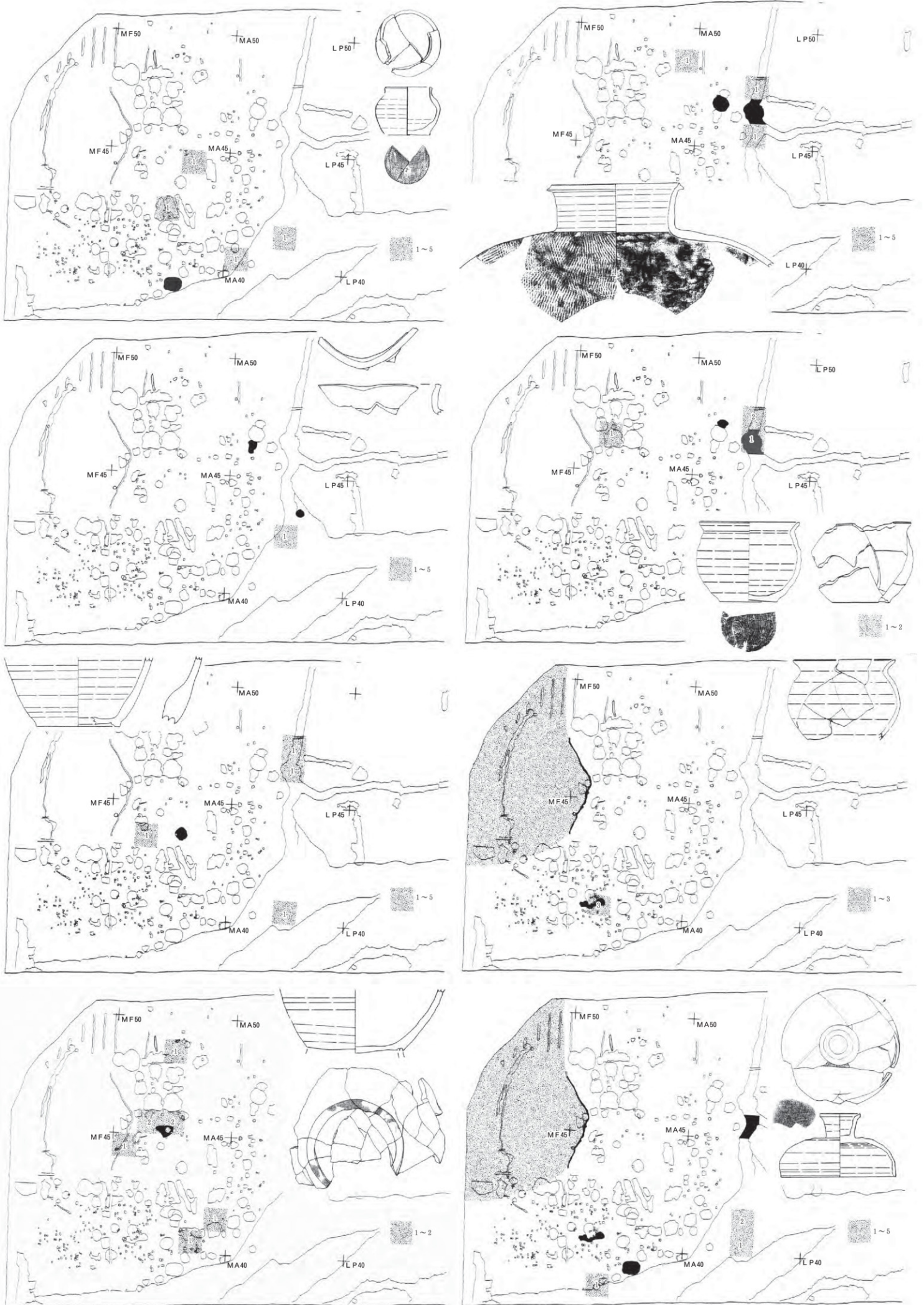
※ トーン部分は大和の火山灰検出層

附図4 厨川谷地遺跡 旧河道断面図

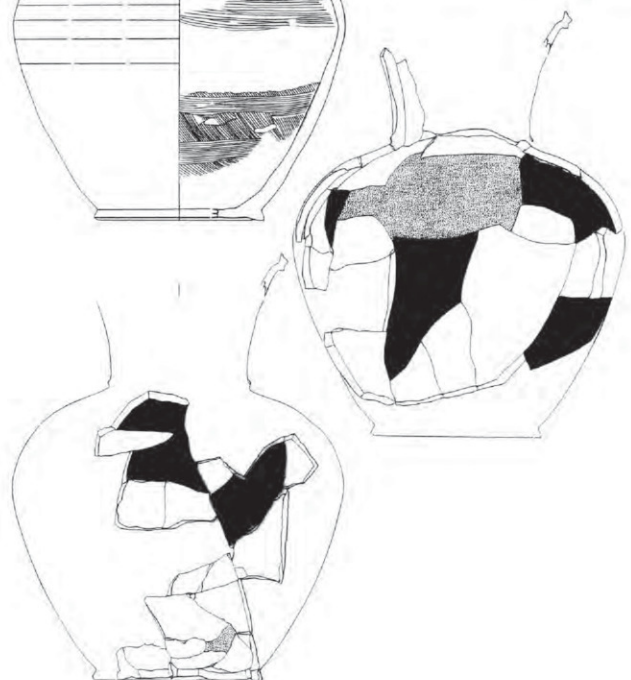
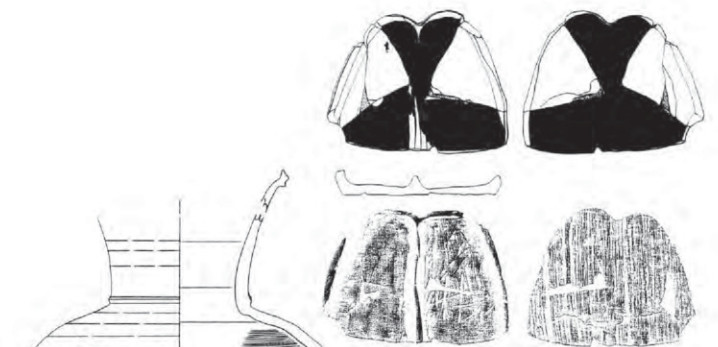
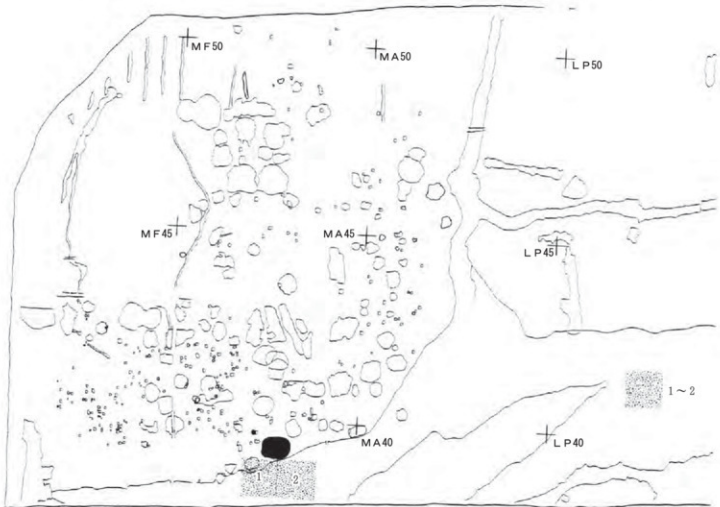
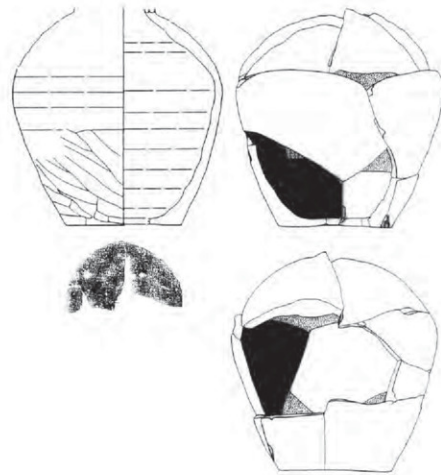
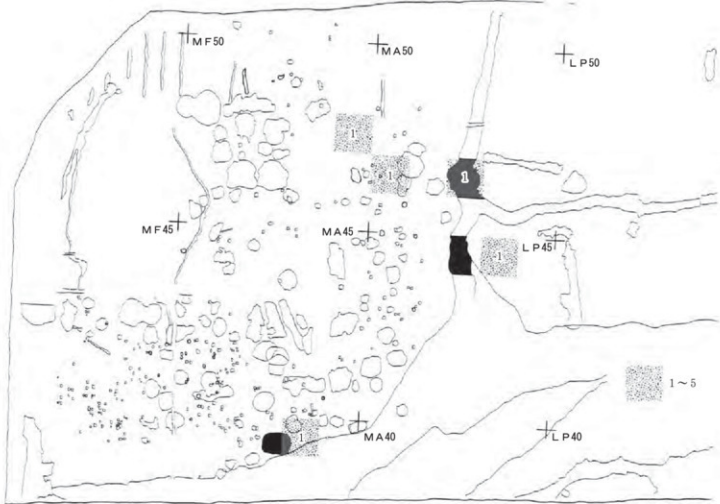
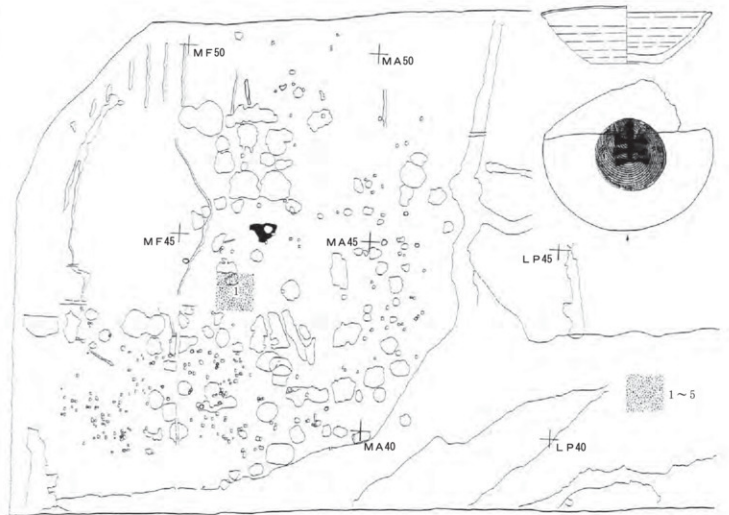
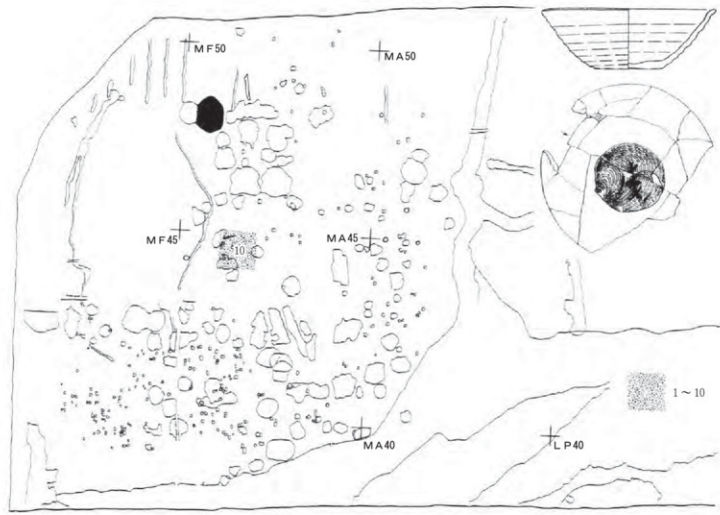


附図 5-1 厨川谷地遺跡 遺物接合分布図 (1)

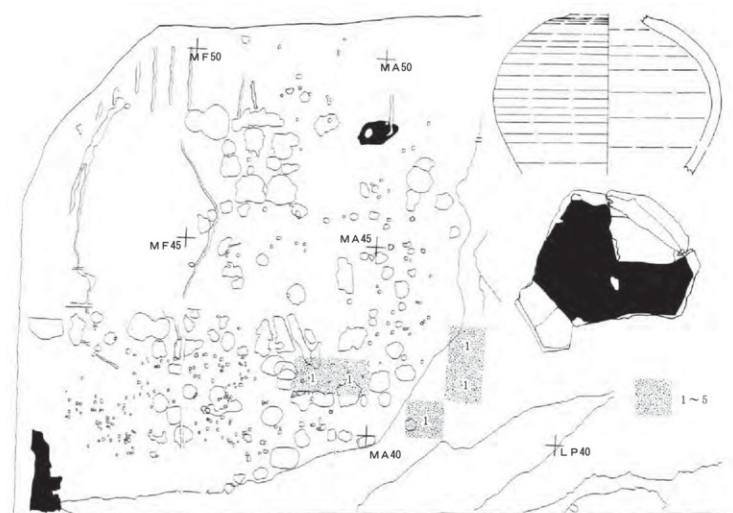
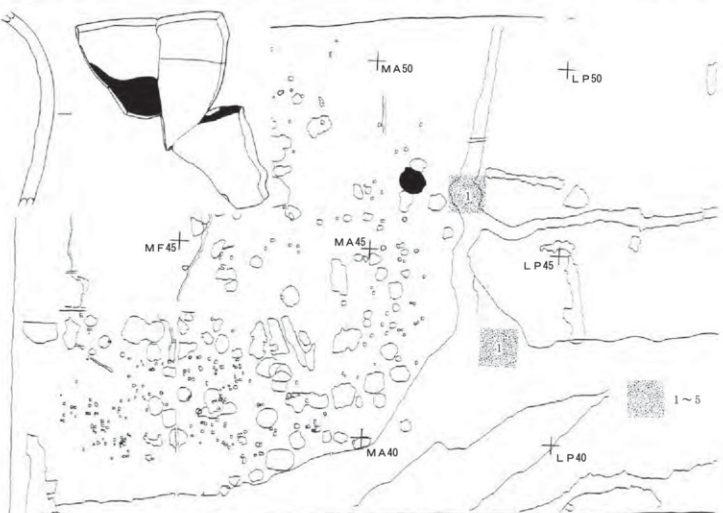
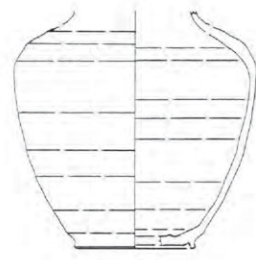
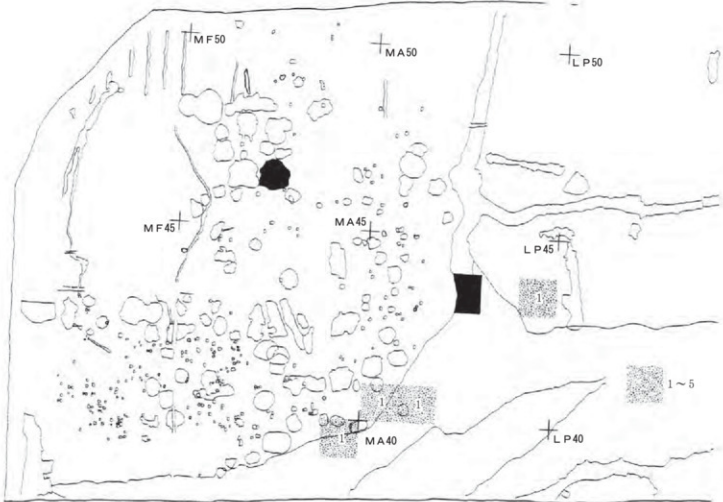
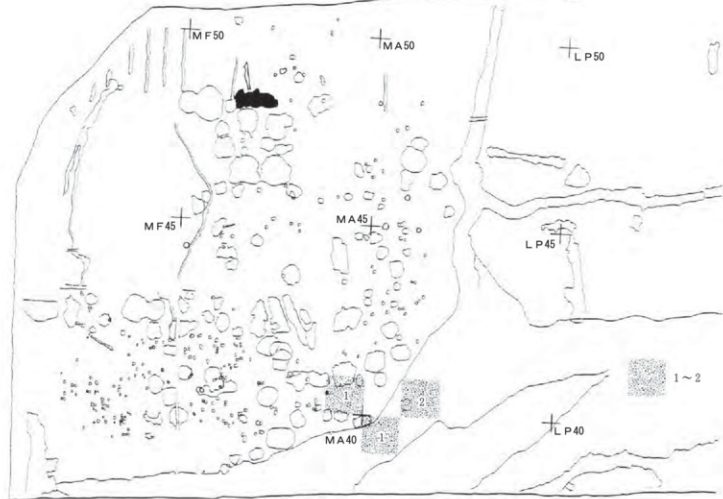
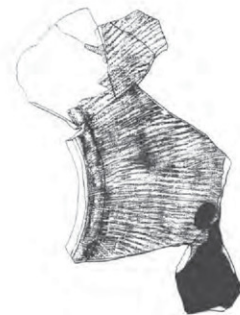
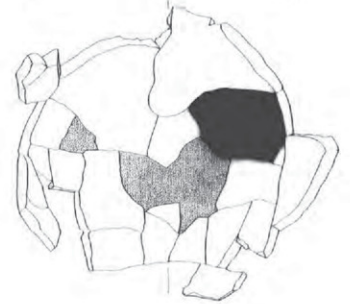
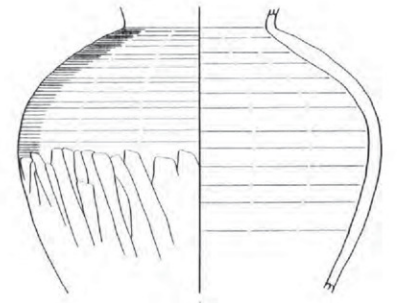
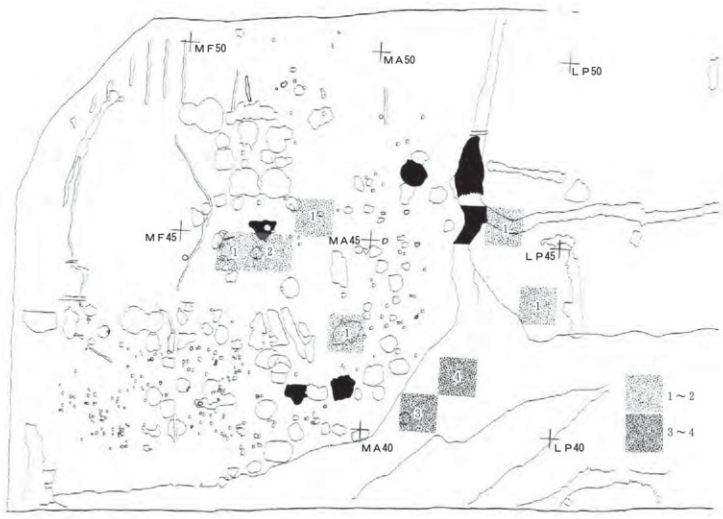
※表中濃いトーンは十和田の火山灰検出遺構、薄いトーンはIII層トーンはIII層以下で検出した遺構(附表2参照)  
墨塗り箇所は出土遺構、数字は出土点数



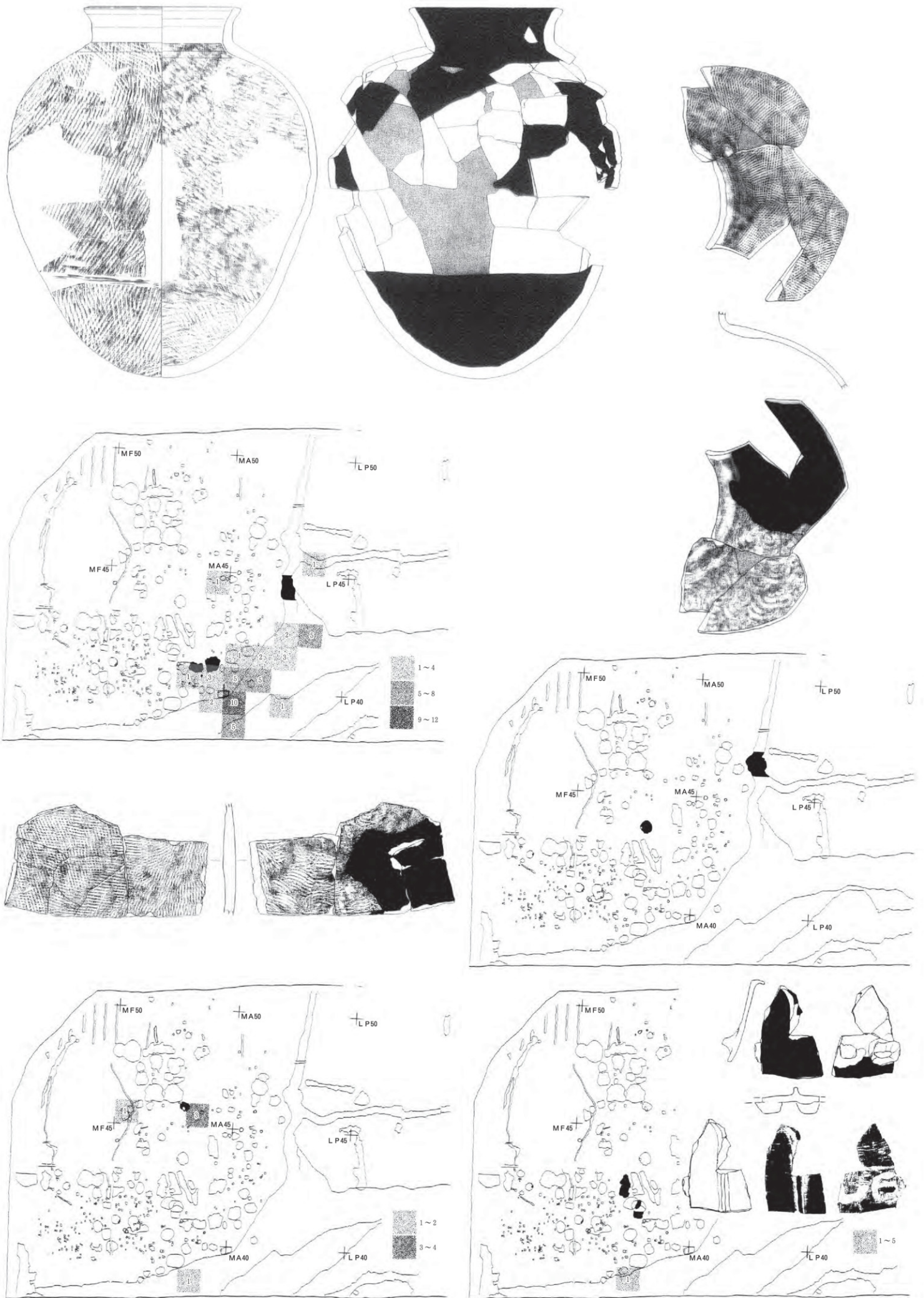
附圖5-2 厨川谷地遺跡 遺物接合分布圖(2)



附圖 5-3 厨川谷地遺跡 遺物接合分布圖 (3)

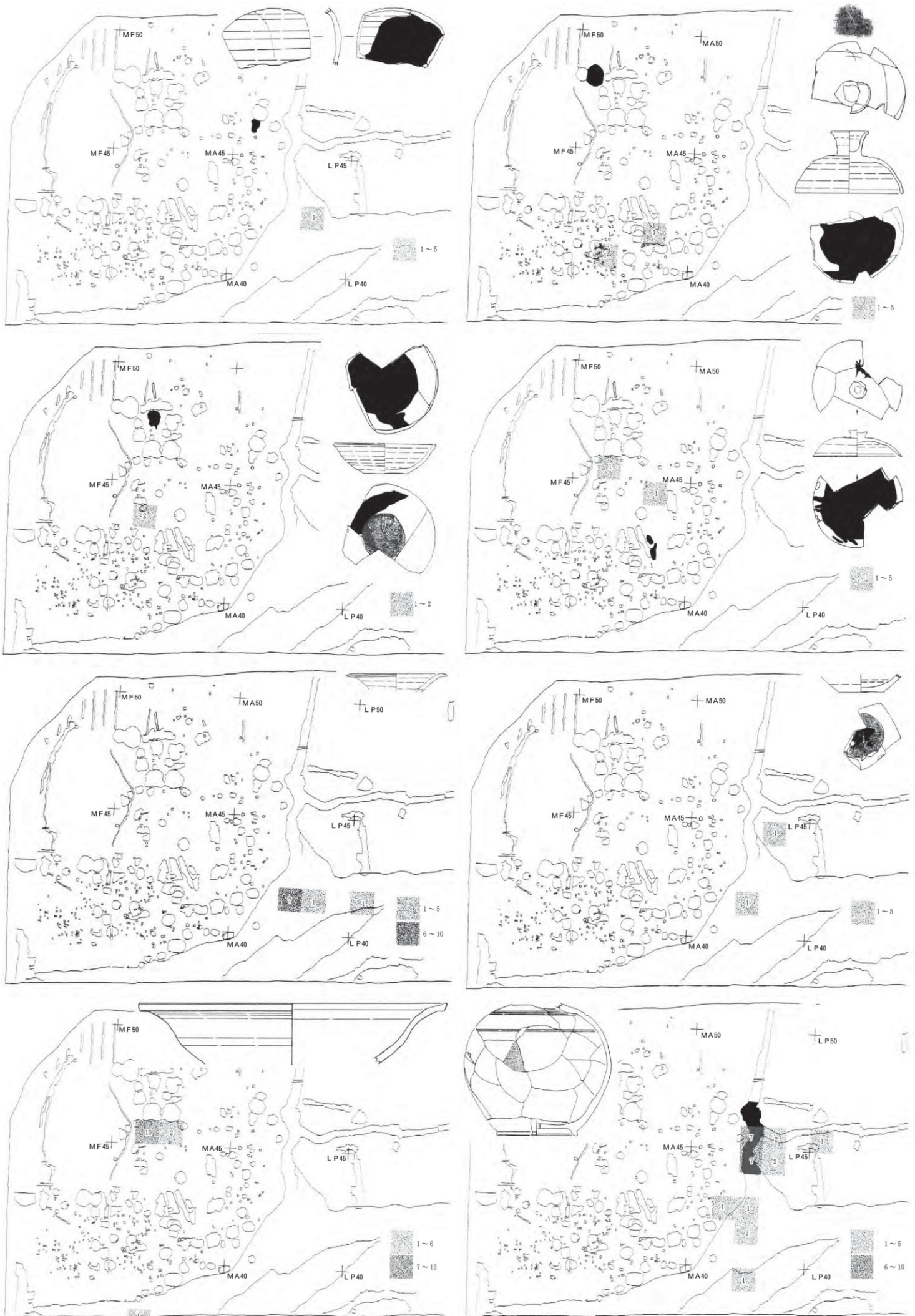


附圖 5-4 厨川谷地遺跡 遺物接合分布圖 (4)

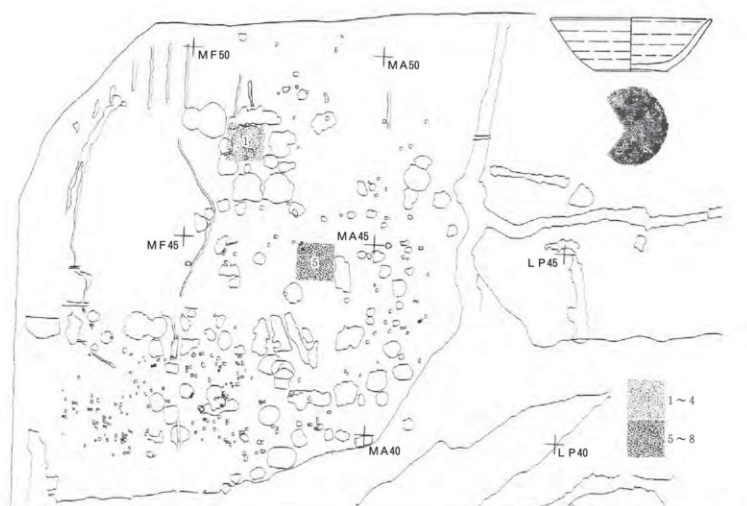
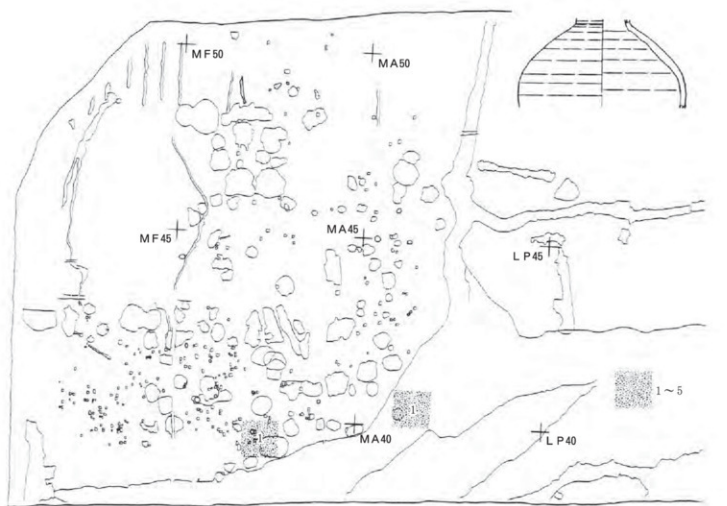
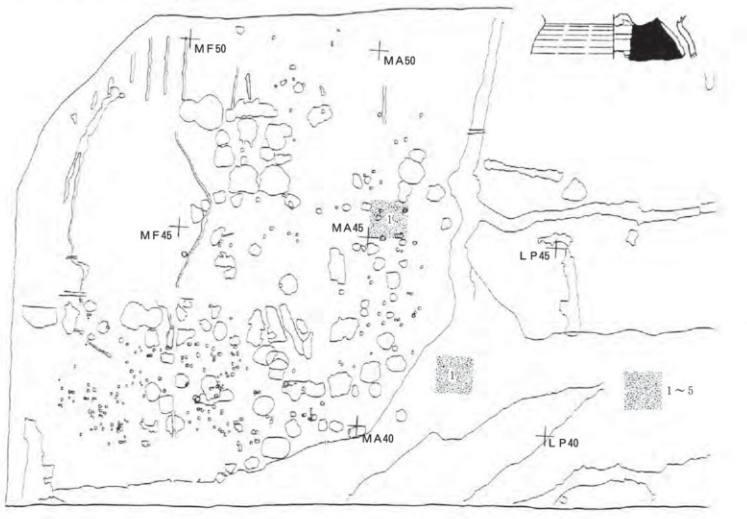
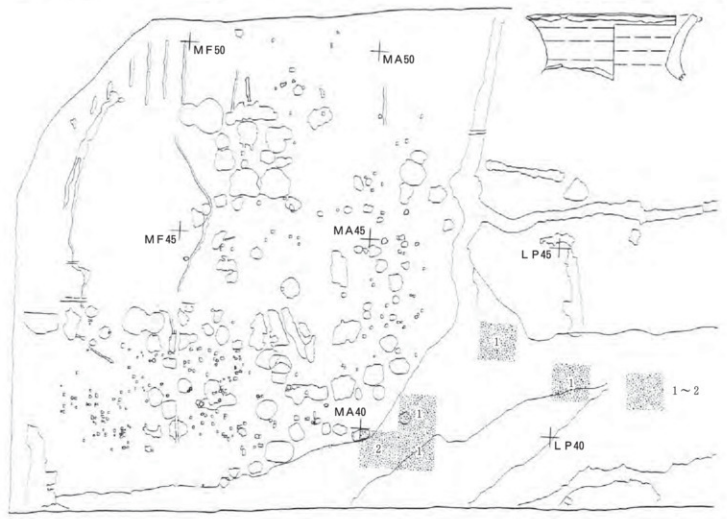
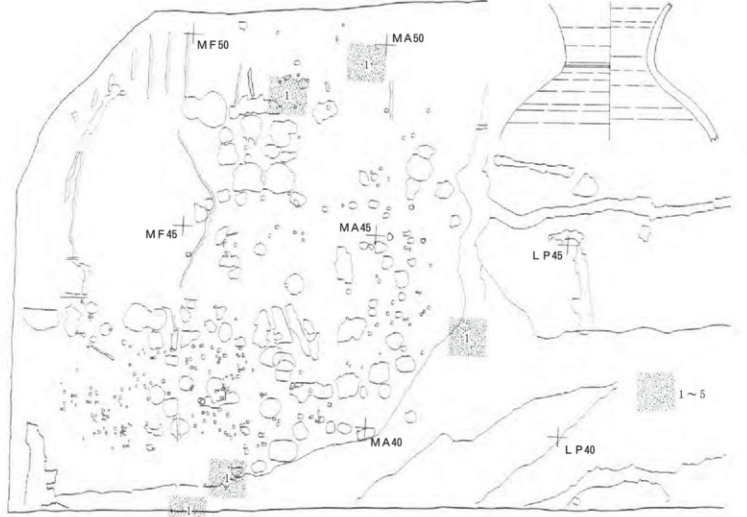
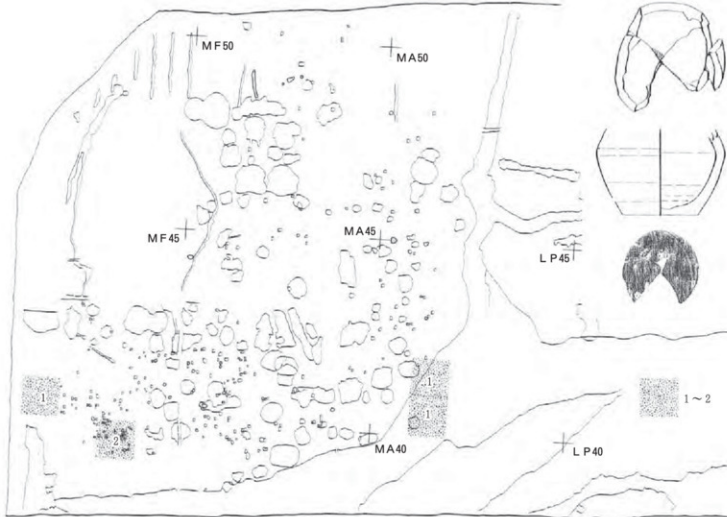
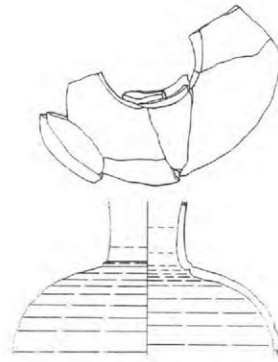
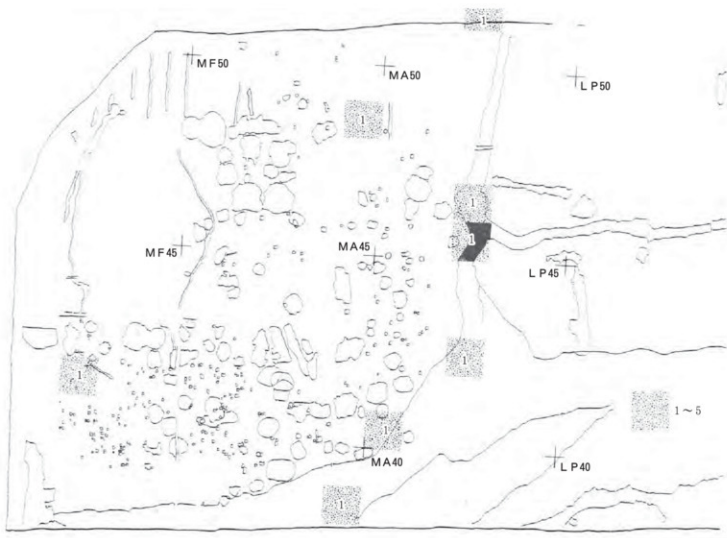


附图 5-5 厨川谷地遺跡 遺物接合分布图 (5)

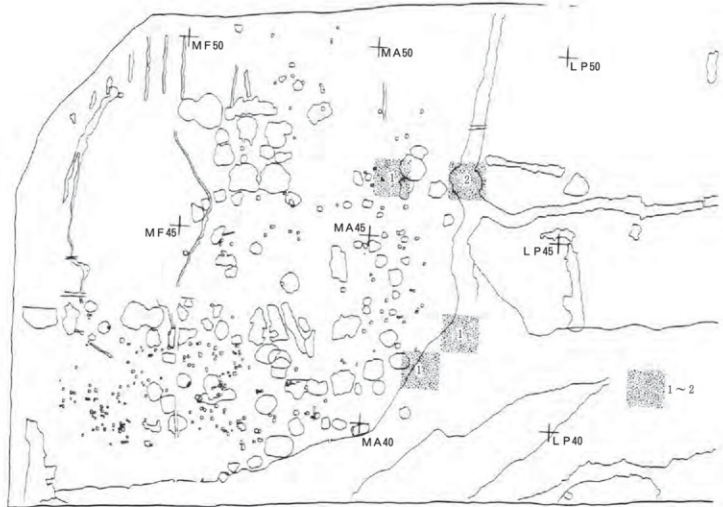
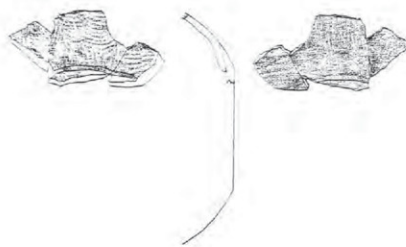
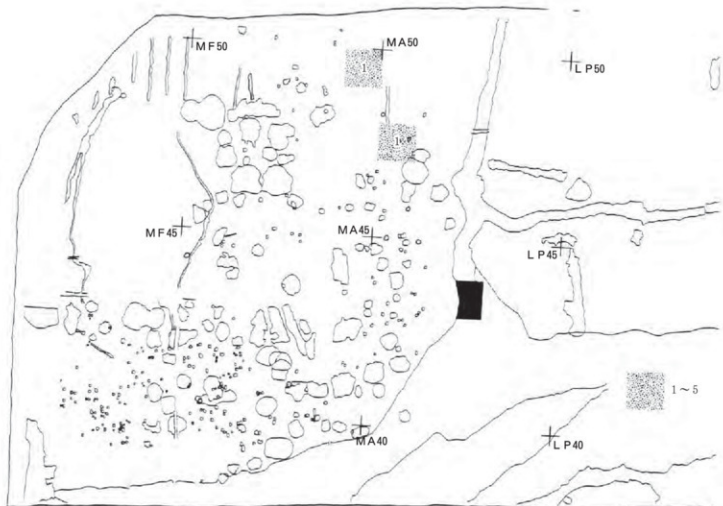
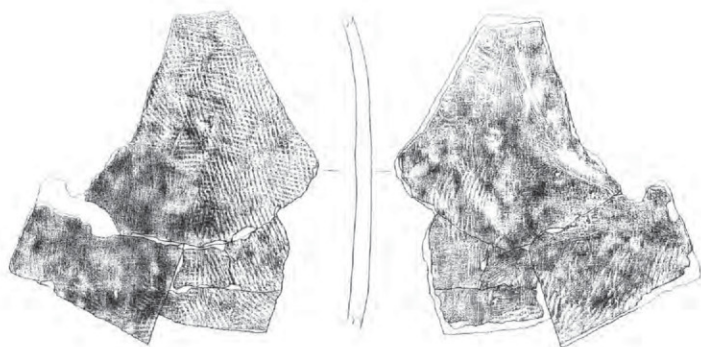
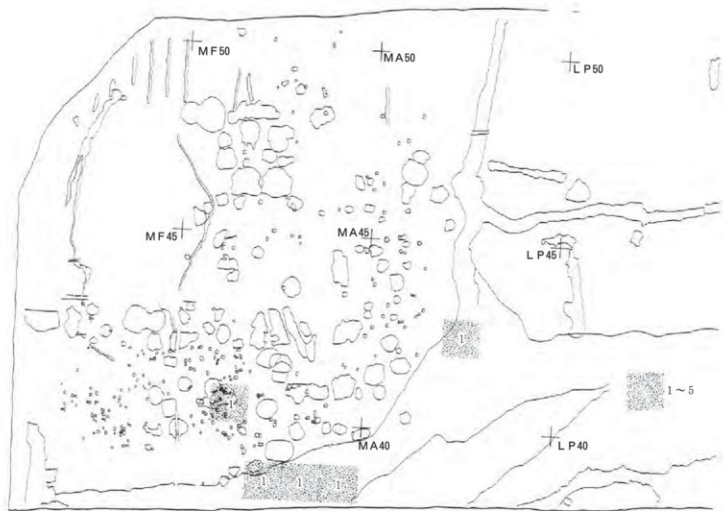




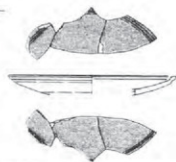
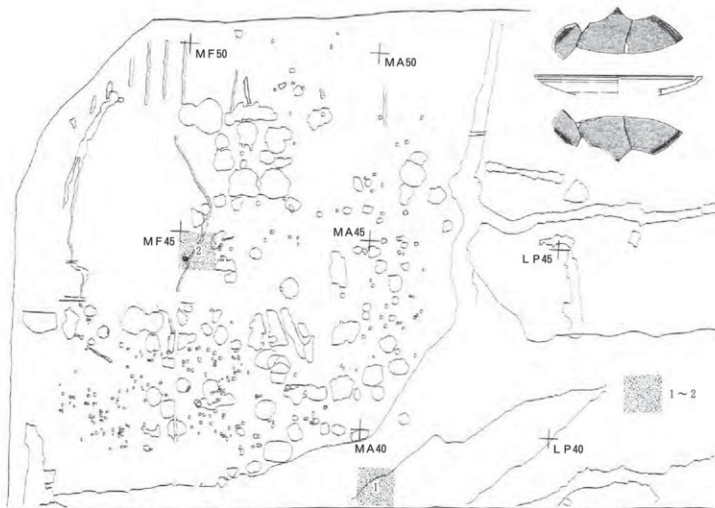
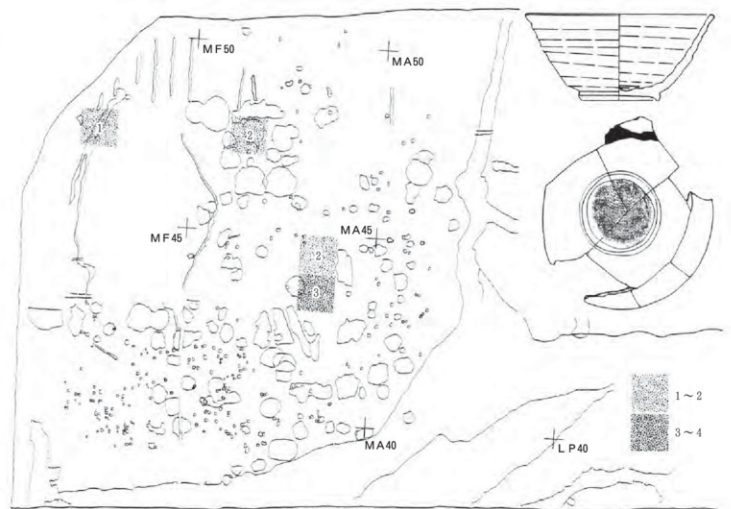
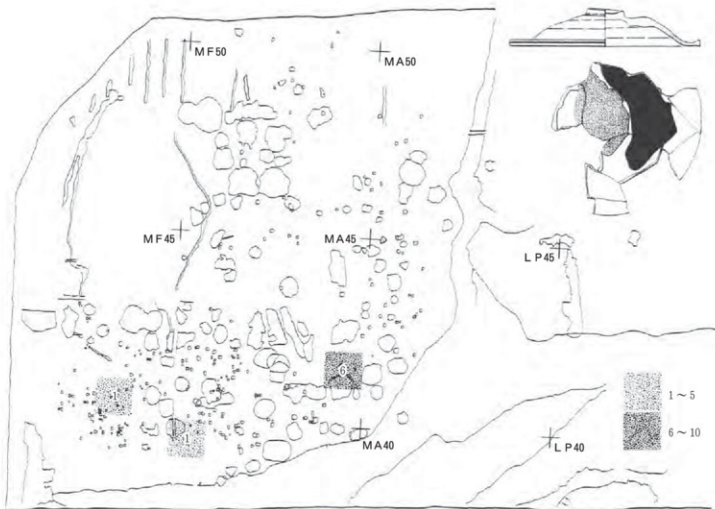
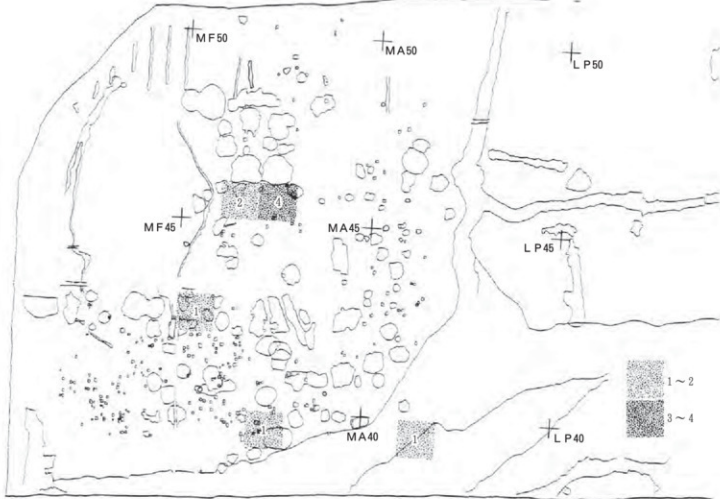
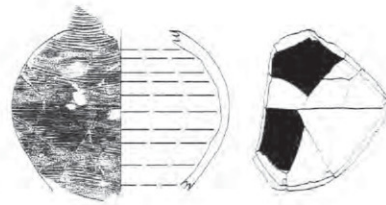
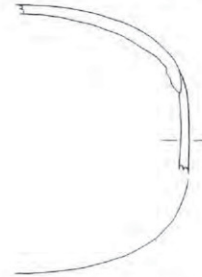
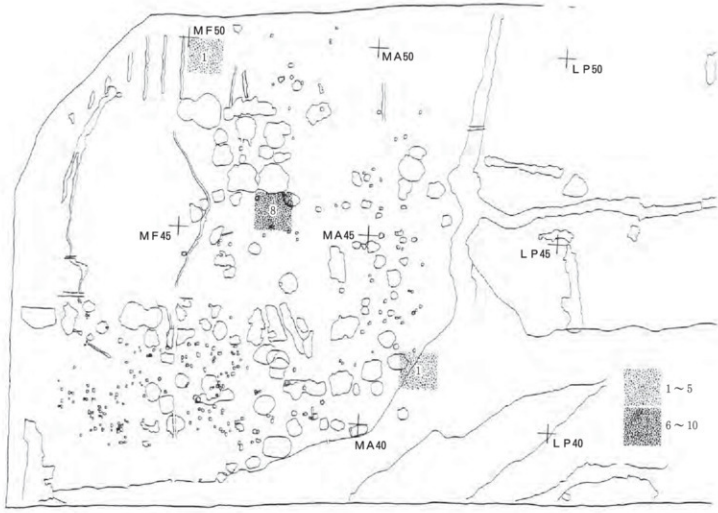
附图 5-6 厨川谷地遺跡 遺物接合分布図(6)



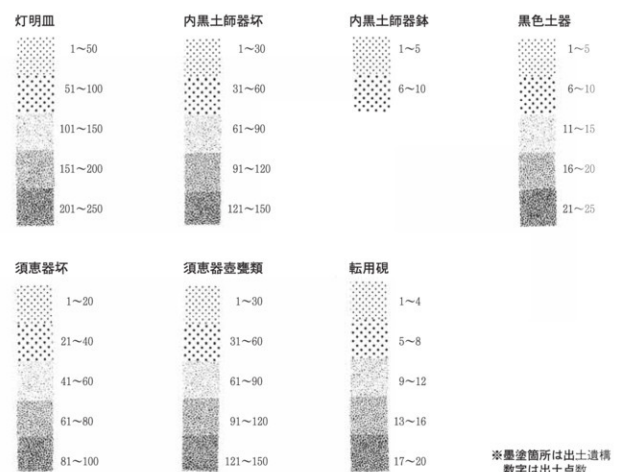
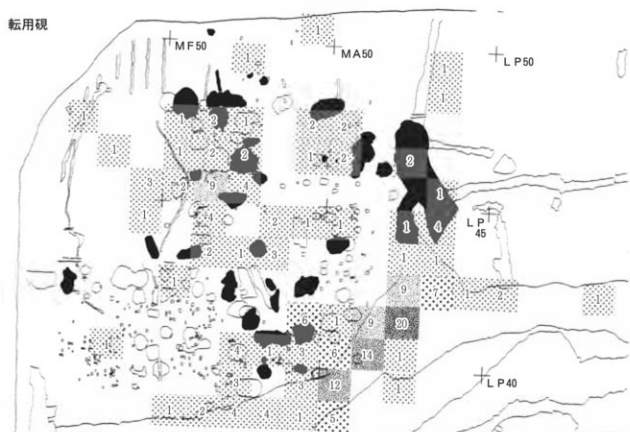
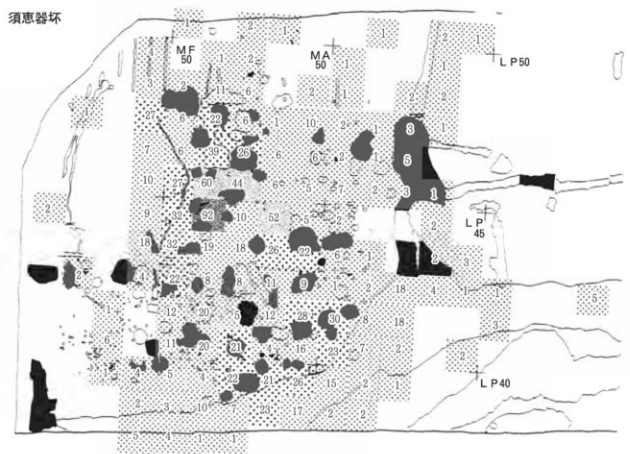
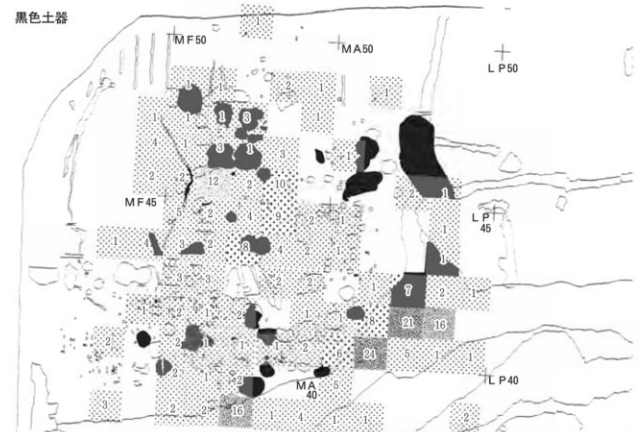
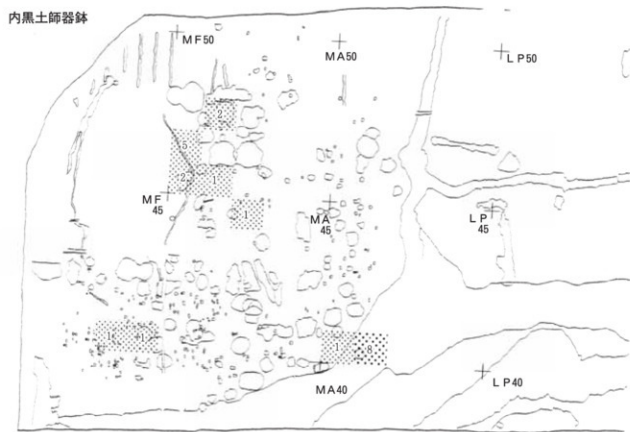
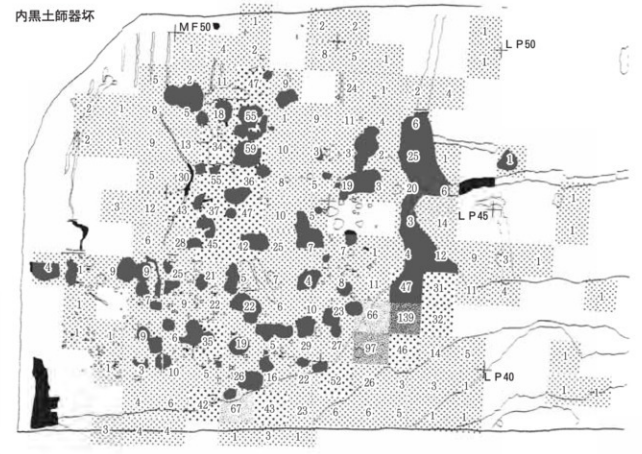
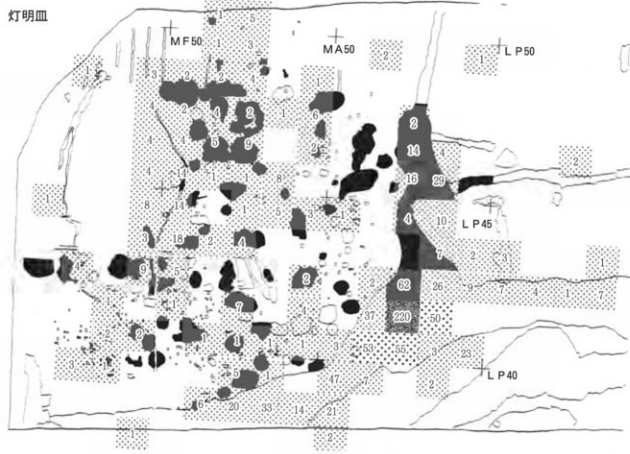
附圖5-7 厨川谷地遺跡 遺物接合分布圖(7)



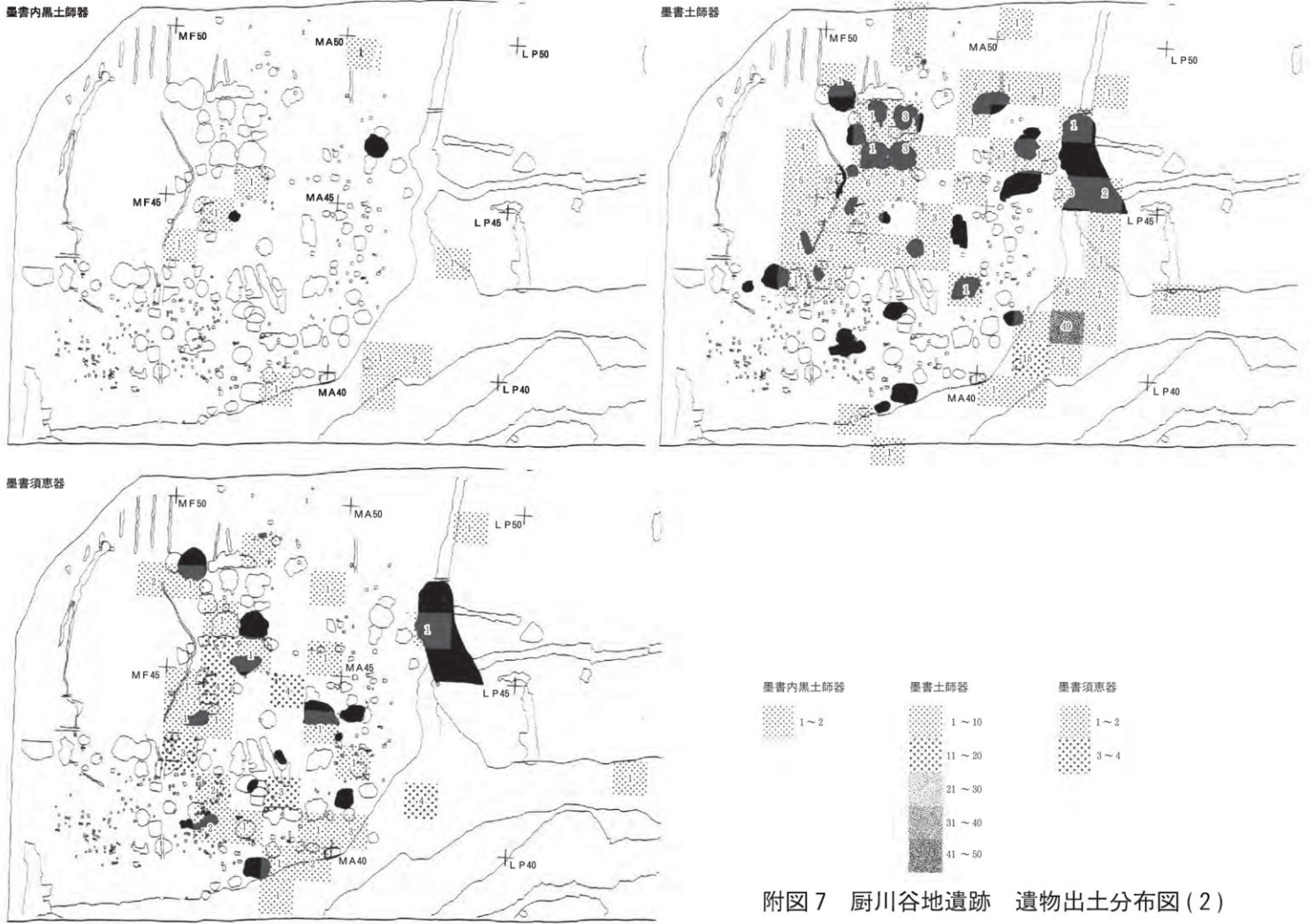
附圖 5-8 厨川谷地遺跡 遺物接合分布図 (8)



附図5-9 厨川谷地遺跡 遺物接合分布図(9)

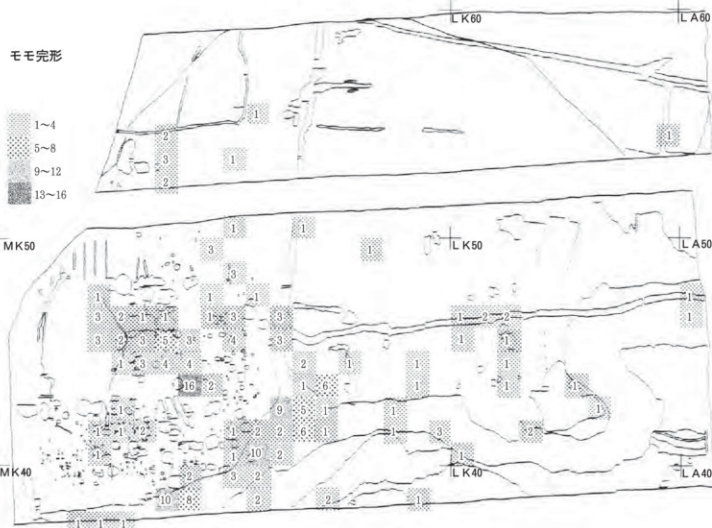


附图6 厨川谷地遺跡 遺物出土分布图(1)

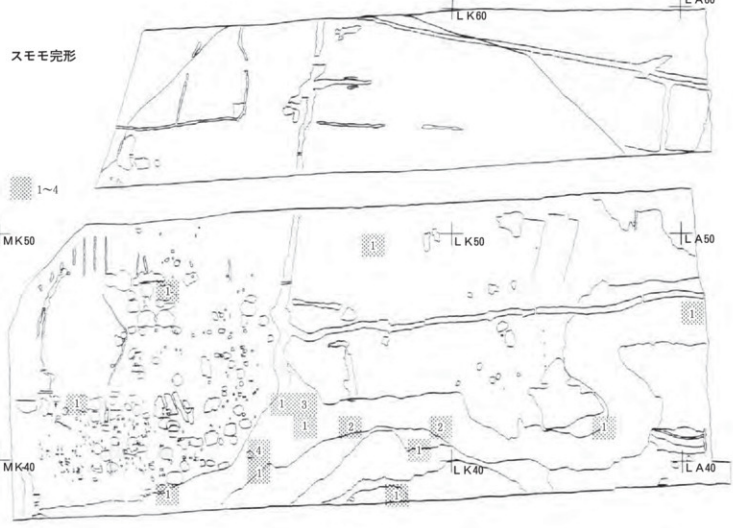


附図7 厨川谷地遺跡 遺物出土分布図(2)

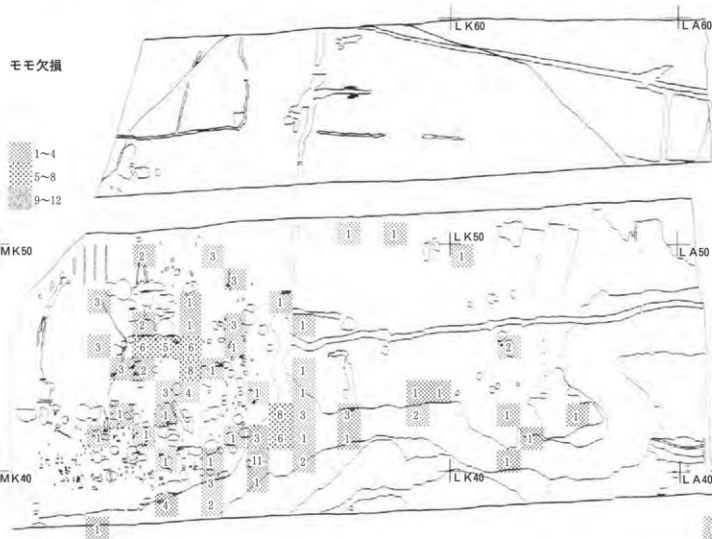
モモ完形



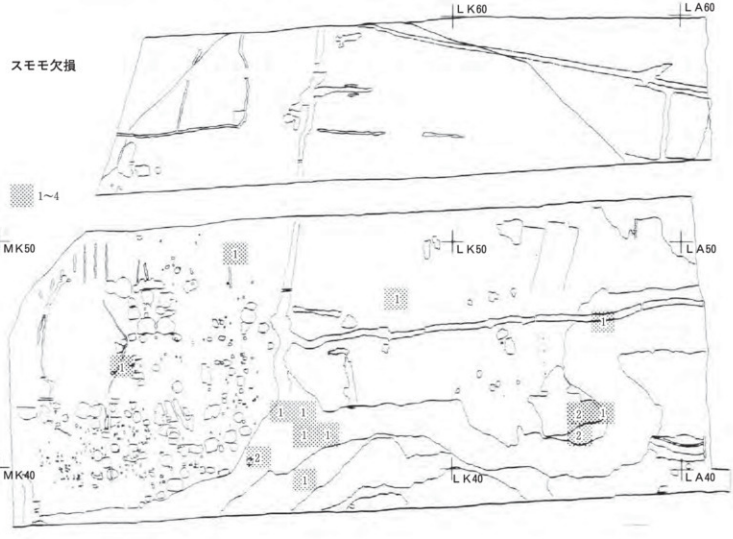
スモモ完形



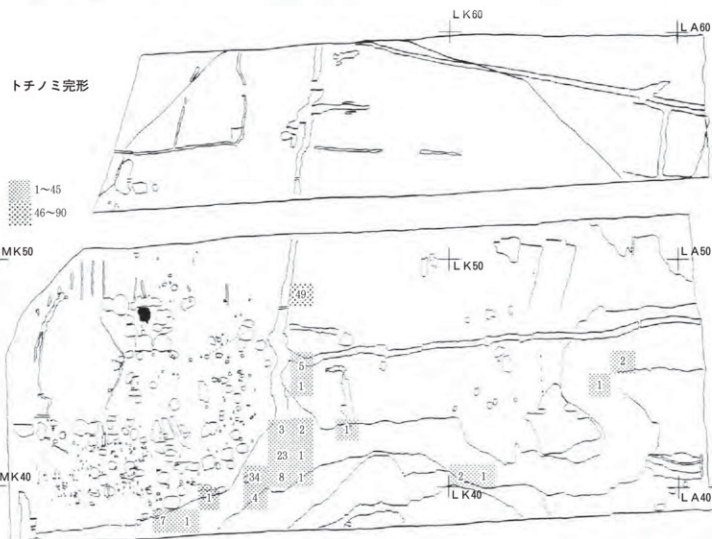
モモ欠損



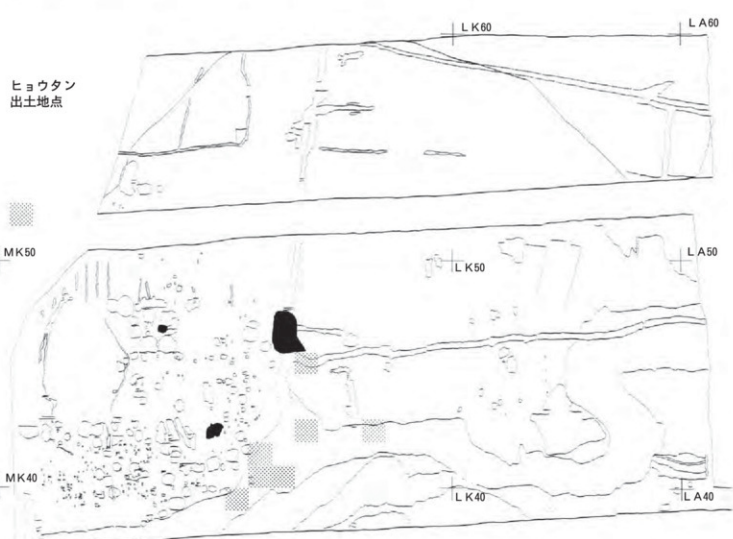
スモモ欠損



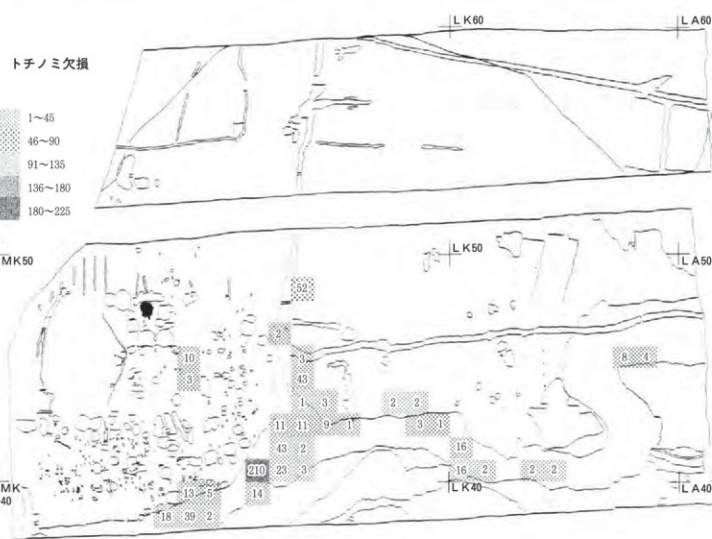
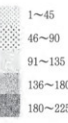
トチノミ完形



ヒョウタン  
出土地点



トチノミ欠損



※墨塗箇所は出土遺構、数字は出土点数

附図 8 厨川谷地遺跡 種実類出土分布図



折斷位置



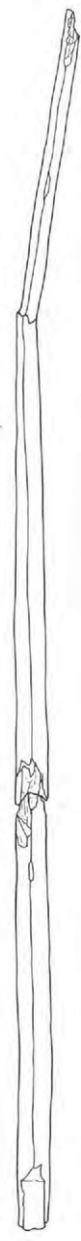
第 121 圖 1



第 100 圖 2



第 100 圖 4



第 100 圖 1



第 100 圖 3



第 130 圖 9



附圖 9 厨川谷地遺跡 木簡実測図



# 附表 1-1 厨川谷地遺跡 検出遺構一覧表 (1)

(1) 祭祀土坑

種別	遺構ID	アフリカ	地区	植栽外出土遺物	風変わり出土製品	柱材	重層	補遺	備考	To-a	長軸	短軸	深さ		
附属	64	SK3	M29	排水溝「丁」	-	-	-	甲層上面	SK	(0.89)	(0.60)	0.22			
	64	SK5	M32	排水溝「丁」	-	-	-	甲層上面	SK	(1.64)	(0.34)	0.73			
	78	SK9	M35	排水溝「丁」	-	-	-	甲層上面	SK	-	-	0.28			
	78	SK12	M32	排水溝「丁」	-	-	-	甲層上面	SK? 排水口関係か?	3.68	2.00	0.14			
	1	SK22	M52	陶器「B」	土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	(1.28)	(1.34)	0.10			
	1	SK23	M53	陶器「B」	土灰、土塊	-	-	甲層上面	小凹地	6.00	0.40	0.05			
	2	SK24	M53	陶器「B」	土灰、土塊	-	-	甲層上面	小凹地	2.42	1.80	0.05			
	2	SK25	M53	陶器「B」	土灰、土塊	-	-	甲層上面	小凹地	1.52	(1.32)	0.04			
	3	SK59	L166	陶器「C」	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	(0.76)	0.84	0.06			
	3	SK61	L056	陶器「C」	土灰	-	-	甲層上面	凹地	(1.78)	(1.44)	0.14			
3	SK64	LP57	陶器「C」	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	甲層上面	凹地	(2.90)	(1.90)	0.16				
2	SK102	M39	陶器「C」, その他	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	2.62	(2.00)	0.11				
2	SK103	L139	陶器「C」, 乙B	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	2.10	1.12	0.08				
3	SK104	M39	陶器「C」, 乙B	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	1.92	1.58	0.13				
3	SK105	M39	陶器「C」, その他	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	1.02	0.62	0.13				
64	SK106	M40	陶器「C」, その他	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	0.60	0.54	0.16				
4	SK107	M39	陶器「C」, その他	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	葦串, 串13, 箸4, 曲物3	-	甲層上面	小凹地	2.94	2.26	0.26				
8	SK108	M39	陶器「C」, 乙B	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	1.48	1.12	0.09				
9	SK113	M40	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土漆、土灰、須恵埴輪、須恵埴輪	形代, 葦串2, 串20, 箸63, 火簀, 棒, 曲物, 瓦葺	-	甲層上面	SK	?	2.28	2.04	0.42			
11	SK115	M39	陶器「C」, その他	土灰、土塊	-	-	甲層上面	小凹地	0.80	0.62	0.05				
11	SK116	M39	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	2.16	1.36	0.13				
64	SK123	M40	陶器「C」, その他	土灰、土塊	-	-	甲層上面	小凹地	(0.60)	(0.30)	0.18				
11	SK124	M39	陶器「C」, 乙B	土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	1.20	0.82	0.08				
11	SK130	L439	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	2.30	(1.16)	0.10				
11	SK140	L439	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	1.34	1.16	0.08				
12	SK150	M442	陶器「C」, SL	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	甲層上面	小凹地	3.20	1.54	0.16				
12	SK151	M442	陶器「C」, SL	土灰、土塊	-	-	甲層上面	凹地	?	1.26	1.18	0.15			
12	SK153	M42	陶器「C」, SL	土灰、土塊	-	-	甲層上面	凹地	1.30	1.22	0.19				
13	SK154	M42	陶器「C」, SL	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	鳥形, 形代, 酒壺2, 串5, 箸12, 棒2, 漆器, 木製容器11, 曲物9	柱材有り	153-418	甲層上面	小凹地	2.86	(2.70)	0.30			
13	SK155	M42	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	154#155	甲層上面	SK	?	2.20	(1.64)	0.19		
15	SK156	M42	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	曲物	-	157-190, 157B-157	甲層上面	SK	?	(4.84)	(2.0)	0.27		
17	SK157A	L146	陶器「C」, SB	内腐坏、内腐坏、黒色灰、土灰、須恵埴輪	刀子形, 串2, 箸10, 曲物2	-	157-190, 157B-157	甲層上面	凹地土SK	2.86	(2.42)	0.48			
17	SK157B	L146	陶器「C」, SB	土灰	棒?	-	157-157	甲層上面	凹地	?	(2.16)	1.56	(0.40)		
17	SK160	L547	陶器「C」, SB	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	葦串, 箸, 曲物2	-	157-160	甲層上面	SK	?	1.52	1.50	(0.34)		
15	SK163	M41	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	163-297	甲層上面	小凹地	2.70	(1.88)	(0.10)			
25	SK165	M41	陶器「C」, その他	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	165-300	甲層上面	小凹地	(1.12)	(1.70)	0.16			
26	SK166	M46	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	凹地	1.22	1.16	0.10			
24	SK168	M46	陶器「C」, その他	土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	235-168	甲層上面	SK	?	(4.74)	(1.92)	(0.36)		
26	SK170	M45	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	?	1.42	1.30	0.09		
26	SK171	M50	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	1.00	0.72	0.10			
27	SK175	M47	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪	箸	-	175-176	甲層上面	小凹地	3.84	(2.56)	0.08			
27	SK176	M47	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	175-176	甲層上面	小凹地	5.76	(3.12)	0.15			
26	SK177	M47	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、漆葺	葦串2, 串, 曲物	-	-	甲層上面	SK	?	1.58	1.38	0.28		
28	SK178	M46	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	1.82	1.06	0.25			
30	SK179	M46	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、漆葺	葦串5, 串12, 箸26, 火簀, 棒2, 木製容器, 曲物4	-	179#-179	甲層上面	SK	?	一次To-a埋積地179#-179#埋積地一二次To-a埋積地	0.32	3.16	0.38	
30	SK179B	M46	陶器「C」, SB	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	179#-179	甲層上面	To-a自然埋積, 凹地	-	-	-			
33	SK180	M44	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪	串5, 箸18, 漆器, 木製容器	-	-	甲層上面	SK?	To-a上に葦串	1.32	1.16	0.21		
34	SK181	M43	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、漆葺	形代? 葦串15, 串9#, 箸1, 90, 付木2, 棒, 漆葺, 瓦葺木製品	-	-	甲層上面	SK	?	底面にクルミ多数	0.28	2.06	0.37	
36	SK183	M45	陶器「C」, SB	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	?	0.98	0.86	0.06		
36	SK185	L445	陶器「C」, 甲A	土灰、土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	1.16	1.00	0.29			
36	SK187	L046	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	2.76	2.38	0.10			
36	SK191	LL49	陶器「C」, その他	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	3.48	1.06	0.08			
36	SK192	L449	陶器「C」, その他	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	2.62	1.00	0.09			
37	SK193	L447	陶器「C」, SB	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	0.94	0.76	0.15			
37	SK194	L147	陶器「C」, その他	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	1.58	1.76	0.06			
37	SK195	L147	陶器「C」, その他	土灰、土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	1.56	0.86	0.09			
37	SK196	L150	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	SK?	4.48	4.44	0.10			
38	SK198	L445	陶器「C」, その他	土灰、土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	0.40	0.78	0.06			
38	SK199	L445	陶器「C」, その他	土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	2.36	1.62	0.14			
38	SK200	L445	陶器「C」, その他	土灰、土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	2.76	1.86	0.12			
64	SK201	L146	陶器「C」, SB	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	SK	?	確認した上倒立坑出土	0.38	0.28	0.10
39	SK204A	M46	陶器「C」, SB	土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	204A-204B	甲層上面	SK	?	2.32	2.22	0.16		
40	SK206	M42	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	SK	?	3.50	2.52	0.26		
41	SK209A	M40	陶器「C」, その他	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪	漆葺	-	-	甲層上面	小凹地	2.18	2.16	0.12			
42	SK210	M45	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪	槍形, 箸?	-	-	甲層上面	SK	?	1.68	1.36	0.20		
39	SK211	M47	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	SK	?	1.76	1.56	0.26		
39	SK211B	M47	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	SK?	-	-	-			
41	SK212	M40	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	211B-211A	甲層上面	SK	?	2.22	1.66	0.10		
41	SK223	L440	陶器「C」, その他	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	1.00	0.80	0.08			
43	SK227	L546	陶器「C」, SB	土灰、土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	SK	?	1.88	1.78	0.27		
44	SK233	M48	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	233-234	甲層上面	凹地	SK	?	2.27	(1.80)	0.20	
44	SK234	M48	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	曲物5	-	233-234	甲層上面	凹地	SK	?	3.60	2.80	0.40	
24	SK235	M48	陶器「C」, その他	土灰、土灰、土塊	-	-	235-168	甲層上面	SK	?	(1.40)	(0.98)	0.14		
65	SK236	M49	陶器「C」, その他	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	SK	?	0.56	0.48	0.08	
41	SK238	M39	陶器「C」, 乙B	内腐坏、土灰、土灰、土塊、須恵埴輪	串3	-	-	甲層上面	凹地	1.10	1.10	0.18			
46	SK239	M39	陶器「C」, 乙B	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	凹地	1.18	1.16	0.16			
46	SK240	M39	陶器「C」, 乙B	内腐坏、土灰、土塊、土灰、土塊、須恵埴輪	形代? 葦串5, 串5, 箸7, 曲物	-	-	甲層上面	凹地	1.62	1.76	0.28			
46	SK266	L143	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	0.96	0.65	0.08			
46	SK262	M48	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	箸6	-	-	甲層上面	SK	?	2.72	1.76	0.31		
47	SK263	M47	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪	形代? 葦串, 刺串, 串46, 箸92, 火簀, 棒, 曲物?	-	-	甲層上面	SK	?	2.90	2.18	0.70		
50	SK265B	M46	陶器「C」, SB	内腐坏、黒色灰、土灰、土塊、須恵埴輪、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地, 甲層シメ?	?	3.30	2.86	0.18		
50	SK266	L144	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	?	1.30	0.99	0.13		
50	SK268	L143	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊、須恵埴輪	-	-	-	甲層上面	小凹地	?	1.18	1.02	0.09		
50	SK269	L143	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	SK	?	1.08	0.80	0.07		
55	SK271	L445	陶器「C」, その他	土灰、土塊	-	-	-	甲層上面	SK	?	0.72	0.68	0.12		
50	SK278	M40	陶器「C」, その他	内腐坏、土灰、土灰、土塊	葦串3, 箸3, 曲物2	-	-	甲層上面	SK	?	1.58	1.52	0.26		

附表1-2 厨川谷地遺跡 検出遺構一覧表(2)

検出No	遺構No	グリッド	地区	掲載外出土遺物	掲載外出土製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
51	SK278	NE40	範囲 [C], その他	内黒灰, 黒色灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.82	1.77	0.43
51	SK279	NE40	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	刀形	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.86	1.86	0.21
51	SK283	NE41	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.90	1.68	0.22
51	SK296	NE41	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.40	1.16	0.18
15	SK297	NE42	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	163-297	甲層上面	小凹地	-	(0.52)	(0.88)	0.13
52	SK299	NE42	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	小凹地	θ	2.28	1.26	0.16
25	SK300	NE41	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	串, 箸2, 漆器3	-	165-300 301-300	甲層上面	凹地	-	2.38	1.98	0.18
25	SK301	NE41	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	漆器4, 串8, 箸13	-	301-300-3018	甲層上面	SK7, 斎事立て出土	-	2.86	2.06	0.30
52	SK302	NE42	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	小凹地, 下層に炭化物層	θ	1.96	1.46	0.18
52	SK303	NE42	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.18	1.00	0.21
53	SK304	NE40	範囲 [C], その他	内黒灰, 黒色灰, 土灰, 土塊, 土塊, 須弥, 須弥変種	箸2	-	350-304 304-308	甲層上面	小凹地	-	4.26	1.22	0.30
56	SK310	NE42	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.00	0.96	0.10
56	SK312	NE42	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.32	1.12	0.12
56	SK333	NE42	範囲 [C], SB	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.42	1.22	0.15
56	SK334	NE42	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	4.02	1.86	0.16
56	SK338	NE42	範囲 [C], SB	土塊	-	-	-	甲層上面	凹地	-	3.88	1.92	0.18
57	SK339	NE42	範囲 [C], SB	土塊	-	-	-	甲層上面	凹地	-	5.66	(1.10)	0.28
57	SK340	NE42	範囲 [C], SB	土灰, 土塊, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	凹地	-	1.76	0.96	0.29
53	SK350	NE40	範囲 [C], その他	内黒灰, 黒色灰, 土灰, 土塊, 土塊, 須弥, 須弥変種	箸3, 棒	-	350-304 304-323-324	甲層上面	SK, 朱	θ	2.56	1.82	0.29
58	SK362	NE45	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.48	1.20	0.11
58	SK369	NE44	範囲 [C], SL	内黒灰, 土灰, 土塊, 土塊, 土塊, 須弥	漆器5, 串	-	-	甲層上面	小凹地	-	2.10	1.06	0.23
59	SK360A	NE44	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 漆紙	-	-	360A-360B	甲層上面	小凹地	-	2.10	1.16	0.13
59	SK381	NE43	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.46	0.72	0.13
59	SK364	L141	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.66	1.16	0.08
60	SK365	L141	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	2.62	2.26	0.08
65	SK369	MA43	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 土塊, 須弥	形代, 串2, 木製容器5	-	-	甲層上面	SK	-	0.86	0.70	0.32
60	SK373	L142	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥	鳥形, 漆器, 箸2	-	-	甲層上面	SK	θ	1.88	1.76	0.30
61	SK375	L141	範囲 [C], その他	内黒灰, 黒色灰, 土灰, 土塊, 土塊, 須弥, 須弥変種	形代, 漆器, 串2	-	-	甲層上面	SK, 甕土上-下位にわた りTo-a短期間に埋没	θ	2.26	1.70	0.38
62	SK386	MA41	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	2.54	-	0.14
61	SK396	MA40	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.26	0.88	0.07
62	SK403	MA43	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	箸3	-	-	甲層上面	凹地	-	(4.22)	(1.72)	0.23
67	SK404	NE41	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	凹地	-	(2.82)	(1.62)	0.22
66	SK427	MA46	範囲 [C], SB	土灰, 土塊, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	小SK	-	0.89	0.72	0.24
66	SK430	L144	範囲 [C], SB	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小SK	-	0.66	0.62	0.21
66	SK434	MA44	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰	-	-	-	甲層上面	小SK	-	0.44	0.22	0.13
66, 62	SK435	MA44	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰	-	-	-	甲層上面	小SK	-	0.58	0.48	0.28
61	SK438	L143	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	動物2	-	-	甲層上面	SK7	-	1.86	1.42	0.20
62	SK441	L144	範囲 [C], SB	土灰, 土塊	箸2	-	-	甲層上面	小凹地	-	1.30	(0.74)	0.21
66	SK442	L145	範囲 [C], SB	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小SK	-	0.54	0.44	0.16
67	SK453	MA45	範囲 [C], SB	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	小SK	-	0.82	0.68	0.11
79	SK502	NE43	範囲 [C], SL	内黒灰, 黒色灰, 土灰, 土塊, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層中	埋没SK, SA1014	-	2.76	1.38	0.36
79	SK503	NE43	範囲 [C], SB	内黒灰, 黒色灰, 土灰, 土塊, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	(2.04)	(2.0)	0.10
80	SK505	MA43	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	(3.80)	(2.56)	0.14
81	SK506	L145	範囲 [C], SB	内黒灰, 黒色灰, 土灰, 土塊, 土塊, 須弥変種	箸4	-	-	甲層中	埋没SK	-	5.42	2.76	0.21
82	SK507	NE45	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	串3, 箸5	-	-	甲層中	埋没SK	-	4.92	2.90	0.41
84	SK508	NE43	範囲 [C], SL	黒色灰, 土灰, 土塊, 須弥	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	(2.62)	(0.90)	0.20
84	SK509	NE40	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	0.80	0.68	0.09
79	SK511	NE48	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	0.72	0.54	0.16
79	SK512	NE48	範囲 [C], その他	土灰, 須弥変種	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	(1.06)	(0.56)	0.14
80	SK513	NE47	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	2.22	0.76	0.11
81	SK514	LS48	範囲 [C], その他	土灰	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	0.94	0.32	0.12
85	SK515	L143	範囲 [C], SB	土灰, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	2.74	(1.92)	0.13
83	SK516	NE49	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	0.54	0.48	0.07
83	SK518	L148	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	(1.28)	(0.88)	0.14
83	SK519	NE49	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	(1.60)	(1.24)	0.11
86	SK520	NE40	範囲 [C], その他	黒色灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	1.70	0.60	0.17
85	SK525	MA41	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	(1.92)	(1.10)	0.23
87	SK527	MA47	範囲 [C], SB	土灰, 土塊, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	1.96	1.30	0.08
85	SK528	NE42	範囲 [C], その他	土灰, 土塊, 須弥変種	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	2.14	1.06	0.10
87	SK530	MA47	範囲 [C], SB	土灰, 土塊, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	4.44	2.50	0.18
87	SK530B	MA47	範囲 [C], SB	土灰	-	-	-	甲層中	埋没SK	-	-	-	-
67	SK772	MJ21	排水溝「イ」	-	-	-	-	甲層上面	小SK	-	0.80	0.64	0.13
67	SK788	MJ24	排水溝「イ」	-	-	-	-	甲層上面	小SK	-	(0.60)	(0.44)	0.07
67	SK792	MJ24	排水溝「イ」	-	-	-	-	甲層上面	小SK	-	(0.64)	(0.38)	0.07

※数字は出土点数

(2) 柱穴

検出No	遺構No	グリッド	地区	掲載外出土遺物	掲載外出土製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
附設	SKP2	MJ24	排水溝「イ」	-	-	-	-	甲層上面	-	-	0.46	0.30	0.07
附設	SKP11	NE39	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	-	-	0.46	0.38	0.11
附設	SKP119	NE39	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	SA1014	-	-	-	0.29
附設	SKP108	NE39	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.29
9	SKP120	NE39	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.21
附設	SKP121	NE39	範囲 [C], その他	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.31
附設	SKP122	NE40	範囲 [C], その他	土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	SA1011	-	-	-	0.30
12	SKP152	NE42	範囲 [C], SL	土灰	-	-	-	甲層上面	形骸の環状立出土, 直下に埋	-	-	-	0.09
65	SKP202	L145	範囲 [C], SB	内黒灰, 土灰, 土塊, 須弥, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	アタリ中位から土器出土	-	0.62	0.52	0.61
39	SKP204B	NE46	範囲 [C], SL	土灰	-	-	204A-204B	甲層上面	SA1002	-	0.35	0.32	0.31
41	SKP209B	NE40	範囲 [C], その他	-	-	-	-	甲層上面	-	-	0.50	0.46	0.06
附設	SKP213	LS45	範囲 [C], その他	-	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.20
附設	SKP214	LS45	範囲 [C], その他	-	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.41
附設	SKP215	LS44	範囲 [C], その他	-	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.53
附設	SKP216	LS44	範囲 [C], その他	-	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.39
附設	SKP241	NE39	範囲 [C], その他	土灰	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.10
附設	SKP242	NE39	範囲 [C], その他	土灰	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.16
附設	SKP243	NE39	範囲 [C], その他	土塊	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.14
附設	SKP244	NE39	範囲 [C], その他	土塊	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.16
9	SKP245	NE40	範囲 [C], その他	土灰	-	-	-	甲層上面	SA1011	-	-	-	0.17
9	SKP246	NE39	範囲 [C], その他	土灰, 土塊, 須弥変種	-	-	-	甲層上面	-	-	-	-	0.35
附設	SKP247	NE40	範囲 [C], その他	土灰	-	-	-	甲層上面	SA1011	-	-	-	0.14
附設	SKP248	NE40	範囲 [C], その他	須弥	-	-	-	甲層上面	SA1011	-	-	-	0.14
附設	SKP249	NE39	範囲 [C], その他	土灰, 土塊	-	-	-	甲層上面	S8903	-	-	-	0.46
附設	SKP250	NE39	範囲 [C], その他	土灰, 土塊, 須弥変種	-	-	-</						

附表 1-3 厨川谷地遺跡 検出遺構一覧表 (3)

検出No	遺構No	オブリド	地区	掲載外出土遺物	掲載外出土木製品	柱材	覆屋	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
附設	SKP282	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1009	-	-	-	0.32
附設	SKP284	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1007	-	-	-	0.29
附設	SKP296	M38	龍岡	TC, 乙	-	-	-	柱材有り	-	-	-	-	0.06
附設	SKP301B	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	柱材有り	301-301B	-	-	-	0.11
53	SKP308B	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	SKP306	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1014	-	-	-	0.14
附設	SKP306	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1011	-	-	-	0.14
附設	SKP307	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1011	-	-	-	0.19
附設	SKP309	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1013	-	-	-	0.20
51	SKP311	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.06
附設	SKP313	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1007	-	-	-	0.17
附設	SKP314	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1006	-	-	-	0.17
附設	SKP315	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1008, 1013	-	-	-	0.19
附設	SKP316	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1009	-	-	-	0.14
附設	SKP317	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1007, 1013	-	-	-	0.21
附設	SKP318	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1006	-	-	-	0.21
附設	SKP319	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1006, 1014	-	-	-	0.21
附設	SKP320	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	柱材有り	-	-	-	-	-
附設	SKP321	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	柱材有り	-	-	-	-	-
附設	SKP322	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.23
附設	SKP323	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.21
附設	SKP324	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1009, 1014	-	-	-	0.27
附設	SKP325	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1009	-	-	-	0.31
附設	SKP325	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.23
附設	SKP327	M42	龍岡	TC, SB	-	審4	-	層上	-	-	-	-	0.06
附設	SKP328	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.15
附設	SKP329	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	SA1007, 1014	-	-	-	0.22
附設	SKP330	M41	龍岡	TC, その他	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.25
附設	SKP334A	M42	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	0.38	0.26	0.35
附設	SKP334B	M42	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.21
附設	SKP334C	M42	龍岡	TC, SB	-	-	-	柱材有り	-	-	-	-	-
附設	SKP335	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.21
附設	SKP341	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1007	-	-	-	0.21
附設	SKP342	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1008	-	-	-	0.12
附設	SKP343	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1006	-	-	-	0.20
附設	SKP344	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1015	-	-	-	0.14
附設	SKP345	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1007	-	-	-	-
附設	SKP346	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.20
附設	SKP347	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.19
附設	SKP348	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.15
附設	SKP349	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.12
附設	SKP351	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.30
附設	SKP353	M42	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.06
附設	SKP354	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.08
附設	SKP355	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.23
附設	SKP356	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.24
附設	SKP357	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.24
附設	SKP358	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.24
59	SKP360B	M44	龍岡	TC, SB	-	-	-	柱材有り	SA1013	-	-	-	0.16
59	SKP360C	M44	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.11
59	SKP360D	M44	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.26
59	SKP360E	M44	龍岡	TC, SB	-	-	-	柱材有り?	SB902	0.68	0.66	0.26	
59	SKP360F	M44	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.15
59	SKP360G	M42	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	SA1005	-	-	-	0.06
59	SKP360H	L142	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、須磨遺構	SB906	0.90	0.76	0.16	
附設	SKP370	L143	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.14
附設	SKP371	L142	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁	-	-	-	-	0.15
附設	SKP372	L142	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁	-	-	-	-	0.21
59	SKP374	L142	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁	SP807	-	-	-	0.28
附設	SKP376	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1006	-	-	-	0.24
附設	SKP377	M39	龍岡	TC, その他	土壁、土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.26
附設	SKP378	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.24
附設	SKP379	M39	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	柱材有り	SA1011, 縦状柱材	-	-	-	-
附設	SKP380	M42	龍岡	TC, SL	-	-	-	柱材有り	SA1013	-	-	-	0.15
附設	SKP381	L142	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁	SB906	0.82	0.68	0.08	
附設	SKP382	M41	龍岡	TC, その他	土壁、土壁	-	-	層上	SA1006	-	-	-	0.23
附設	SKP383	M41	龍岡	TC, その他	土壁、土壁	-	-	層上	SA1006	-	-	-	0.18
附設	SKP384	L343	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.14
附設	SKP387	M40	龍岡	TC, その他	土壁、土壁	-	-	柱材有り	SA1009, 1010	-	-	-	0.14
附設	SKP388	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.07
附設	SKP389	M39	龍岡	TC, その他	須磨遺構	-	-	層上	-	-	-	-	0.09
附設	SKP390	M39	龍岡	TC, その他	土壁、土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.06
附設	SKP391	M39	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.06
附設	SKP392	M39	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1012	-	-	-	0.06
附設	SKP393	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.06
附設	SKP394	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.04
附設	SKP395	L142	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	SA1004	-	-	-	0.12
附設	SKP397	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.08
附設	SKP399	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1010, 1012	-	-	-	0.08
附設	SK401	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1007	-	-	-	0.10
附設	SK402	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1006	-	-	-	0.07
附設	SK405	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.17
附設	SK406	M39	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.06
附設	SK408	M41	龍岡	TC, その他	土壁、土壁	-	-	層上	SA1015	0.84	-	-	0.23
附設	SK409	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1006	-	-	-	0.07
附設	SK410	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1008	-	-	-	0.09
附設	SK411	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	-
附設	SK412	M39	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.08
附設	SK414	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	柱材有り	SA1010	土壁	-	-	0.06
附設	SK415	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	柱材有り	SA1009	-	-	-	0.04
附設	SK416	M41	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	柱材有り	SA1007	-	-	-	-
附設	SK417	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	柱材有り	SA1010	-	-	-	-
附設	SK418	M42	龍岡	TC, SL	-	-	-	柱材有り	153-418	-	-	-	-
26	SKP419	M46	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	-	-	-	-	0.10
附設	SKP420	L143	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁	-	-	-	-	0.09
附設	SKP421	M41	龍岡	TC, その他	土壁、須磨	-	-	層上	-	-	-	-	0.32
附設	SKP422	M40	龍岡	TC, その他	土壁	-	-	層上	SA1006, 1012	-	-	-	0.11
附設	SKP423	L143	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.24
附設	SKP424	LS42	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.12
附設	SKP425	L142	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁	-	-	-	-	0.33
附設	SKP426	L145	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.06
附設	SKP428	L146	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁	-	-	-	-	0.06
51	SKP429	L144	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁	SA1002	-	-	-	0.12
附設	SKP431	L144	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	SB905	1.40	1.22	0.12	
附設	SKP432	LS43	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.29
附設	SKP432	LS43	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.15
附設	SKP433	LS42	龍岡	TC, SB	-	-	-	柱材有り	-	-	-	-	0.25
59	SKP437	L144	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁、須磨遺構	SB905	0.82	0.78	0.28	
附設	SKP439	LS41	龍岡	TC, 乙-A	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.25
附設	SKP440	LS44	龍岡	TC, SB	-	-	-	柱材有り	-	-	-	-	0.24
66	SKP443	M46	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	1.62	0.96	0.46
67	SKP444	L143	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土壁	小Sk, SB904	-	-	-	0.22
附設	SKP449	L146	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁、土灯	小Sk, SB906	0.84	0.80	0.22	
附設	SKP450	M46	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.39
附設	SKP451	M39	龍岡	TC, その他	-	-	-	柱材有り	-	-	-	-	0.05
附設	SKP452	M40	龍岡	TC, その他	-	-	-	柱材有り	-	-	-	-	-
附設	SKP456	M44	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.15
附設	SKP458	M45	龍岡	TC, SB	-	-	-	黒色土、土壁、土壁	SA1015	-	-	-	0.22
附設	SKP459	L144	龍岡	TC, SB	-	-	-	層上	-	-	-	-	0.14
附設	SKP460	L144	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁	-	-	-	-	0.16
附設	SKP461	L147	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁	-	-	-	-	0.29
附設	SKP462	L147	龍岡	TC, SB	-	-	-	土壁	-	-	-	-	0.27
附設	SKP463	LS48	龍岡										



附表1-5 厨川谷地遺跡 検出遺構一覧表(5)

検出No	遺構No	ﾌﾞﾗｯﾄﾞ	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
附設	SKP716	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP717	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP718	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP719	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP720	№42	範囲[C]、SU	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP721	№42	範囲[C]、SU	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.04
附設	SKP722	№42	範囲[C]、SU	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP723	№44	範囲[C]、SU	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP724	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1010	-	-	-	0.12
附設	SKP725	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.09
附設	SKP726	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP727	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP728	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP729	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1012	-	-	-	0.11
附設	SKP730	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP731	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.04
附設	SKP732	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.07
附設	SKP733	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.09
附設	SKP734	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP735	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.10
附設	SKP736	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.08
附設	SKP737	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.07
附設	SKP738	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1012	-	-	-	0.18
附設	SKP739	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.08
附設	SKP740	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.03
附設	SKP741	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1012	-	-	-	0.07
附設	SKP742	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1012	-	-	-	0.06
附設	SKP743	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.12
附設	SKP744	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP745	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.09
附設	SKP746	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP747	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.10
附設	SKP748	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1012	-	-	-	0.09
附設	SKP749	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP750	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1009	-	-	-	0.08
附設	SKP751	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.04
附設	SKP752	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.09
61	SKP753	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.07
附設	SKP754	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.13
附設	SKP755	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP756	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.09
附設	SKP757	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.09
附設	SKP758	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1006	-	-	-	0.06
附設	SKP759	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1007	-	-	-	0.08
附設	SKP760	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1006	-	-	-	0.13
附設	SKP761	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1006	-	-	-	0.09
附設	SKP762	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.10
附設	SKP763	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.10
附設	SKP764	№40	範囲[C]、その他	-	-	柱材有り	-	掘層上面	SA1010, 1014	-	-	-	0.25
6	SKP765	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1012, 1015	-	-	-	0.21
附設	SKP766	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1015	-	-	-	0.10
附設	SKP767	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1006, 1015	-	-	-	0.08
附設	SKP768	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1008	-	-	-	0.14
附設	SKP769	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.13
附設	SKP770	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.09
附設	SKP771	№41	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.13
61	SKP772	M225	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.02
附設	SKP774	M225	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.11
附設	SKP775	M225	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.02
附設	SKP776	M225	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.08
附設	SKP777	M225	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.08
附設	SKP778	M225	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP779	M225	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.09
附設	SKP780	M225	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.08
附設	SKP781	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP782	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP783	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.08
附設	SKP784	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP785	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP786	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.07
附設	SKP787	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP789	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP790	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.11
附設	SKP791	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP793	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP794	M224	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.06
附設	SKP795	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1009	-	-	-	0.11
附設	SKP796	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1009	-	-	-	0.09
附設	SKP797	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1009	-	-	-	0.12
附設	SKP798	№40	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.14
附設	SKP799	№44	範囲[C]、SB	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.29
附設	SKP800	№44	範囲[C]、SB	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.31
附設	SKP801	№48	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	SA1001	-	-	-	0.13
附設	SKP802	№47	範囲[C]、SB	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.14
附設	SKP803	№50	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.07
附設	SKP804	№50	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.08
附設	SKP805	№49	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.11
附設	SKP809	L144	範囲[C]、SB	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.20
附設	SKP810	L143	範囲[C]、SB	-	-	-	-	掘層上面	SA1003	-	-	-	-
附設	SKP811	№45	範囲[C]、SB	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.32
附設	SKP812	L147	範囲[C]、SB	-	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	0.23
64	SKP813	№39	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	-	-	0.32	0.28	0.08

(3) 土器埋設遺構

検出No	遺構No	ﾌﾞﾗｯﾄﾞ	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
68	SR158	№48	範囲[C]、その他	土灰、土釘	-	-	-	掘層上面	小凹地に正立塚高出土	-	-	-	-
68	SR159	L146	範囲[C]、SB	土灰、土壁	-	-	-	掘層上面	小凹地に正立塚高出土	-	-	-	-
69	SR173	№48	範囲[C]、その他	内黒灰、土灰、土釘、土壁	-	-	-	掘層上面	小凹地に正立塚高出土	-	-	-	-
69	SR174	№49	範囲[C]、その他	-	-	-	-	掘層上面	小凹地に正立塚高出土	-	-	-	-
69	SR308	№40	範囲[C]、その他	内黒灰、土灰、土釘、土壁	-	-	304-308	掘層上面	P1柱種の重形に塚2点正立塚上	-	-	-	0.20
70	SR362	№49	範囲[C]、その他	土灰、土釘、土壁	-	-	-	掘層上面	SK164倉付、小凹地に塚多数跡あり	0	-	-	-
71	SR388	№44	範囲[C]、SB	土灰、土壁	-	-	-	掘層上面	塚不検出出土	-	-	-	0.38
72	SR436	L144	範囲[C]、SB	土壁	-	-	-	掘層上面	築山頂に黒石	-	-	-	0.10
72	SR464	№45	範囲[C]、SB	土灰	-	-	-	掘層上面	-	-	-	-	-

(4) 溝状遺構

検出No	遺構No	ﾌﾞﾗｯﾄﾞ	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
74	SD1	M222	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	江戸時代以降?旧水田開拓か?	-	-	-	0.30
75	SD11	№332	排水溝「イ」	土壁	-	-	-	掘層上面	時期不明、旧水田開拓か?	-	4.90	(0.72)	0.16
75	SD13	№226	排水溝「イ」	-	-	-	-	掘層上面	-	-	(3.00)	(0.66)	0.10
3.76	SD31	L056	範囲[C]、その他	土灰、土壁、須香徳類	-	-	311-64-05	掘層上面	SD45と連続、旧水田SD、江戸時代以降	-	-	-	0.18
76	SD49	№54	範囲「B」	土灰、土壁	-	非3、蓄3	51-49	掘層上面	江戸時代以降、SD50・63とともに、旧水田を区画する溝か	-	-	-	-
附設	SD50	№56	範囲「B」	-	-	-	-	掘層上面	江戸時代以降、SD49・63とともに、旧水田を区画する溝か	-	-	-	-
附設	SD53	L156	範囲「B」	-	-	-	51-53	掘層上面	江戸時代以降、SD49・60とともに、旧水田を区画する溝か	-	-	-	-
3.73	SD65	LP56	範囲「B」	土壁	-	-	311-65	掘層上面	江戸時代以降、徳土上のSDなので、旧水田を区画する溝か。	-	(5.70)	(0.82)	0.11

# 附表1-6 厨川谷地遺跡 検出遺構一覧表(6)

検出No	遺構No	アグリド	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
附図	SD81	L054	範圍 [B]	土灯、貝	-			Ⅲ層上面	江戸時代以降、富士上のSxだか、旧水田を区画する溝か。	-	-	-	-
附図	SD83	LR59	範圍 [B]	土灰、土壘	-			Ⅲ層上面	江戸時代以降	-	-	-	-
附図	SD84	LA57	範圍 [B]	-	-		85-84	Ⅲ層上面	江戸時代以降、旧水田を区画する溝。	-	-	0.20	-
附図	SD144	MH46	範圍 [C]、SL	内黒灰、土灰、土灯、土壘、須巻	-			Ⅲ層上面	-	-	-	-	-
73	SD186	LP46	範圍 [C]、その他	土灰	-			Ⅲ層上面	時期不明	8.44	1.14	-	-
附図	SD189	LQ43	範圍 [C]、その他	土灰、土壘	-			Ⅲ層上面	-	-	-	-	-
附図	SD229	ME49	範圍 [C]、SL	-	-			Ⅲ層	0	-	-	-	-
附図	SD229	ME49	範圍 [C]、SL	-	-			Ⅲ層	0	-	-	-	-
附図	SD230	ME48	範圍 [C]、SL	-	-			Ⅲ層	0	-	-	-	-
附図	SD231	ME48	範圍 [C]、SL	-	-			Ⅲ層	0	-	-	-	-
附図	SD232	ME48	範圍 [C]、その他	-	-			Ⅲ層	0	-	-	-	-
附図	SD253	MR47	範圍 [C]、SL	-	-			Ⅲ層	0	-	-	-	-
附図	SD254	MR48	範圍 [C]、SL	-	-			Ⅲ層	0	-	-	-	-
附図	SD255	MR48	範圍 [C]、SL	-	-			Ⅲ層	0	-	-	-	-
73	SD281	MR41	範圍 [C]、その他	土灰、土壘	-			Ⅲ層	0	2.90	0.20	0.06	-
附図	SD446	LP45	範圍 [C]、その他	土灰、土灯、土壘、須巻壘類	木製容器			Ⅲ層上面	-	-	-	-	-
附図	SD224A	LA41	範圍 [C]、その他	土灰、土壘、須巻壘類	形代、箸7			Ⅲ層上面	江戸時代、京水通貫出土	-	-	-	0.23
附図	SD224B	LA41	範圍 [C]、その他	-	-			Ⅲ層上面	江戸時代以降	-	-	-	0.12

## (5) その他の土坑

検出No	遺構No	アグリド	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
76	Sx4	M30	排水路「イ」	-	-			Ⅲ層上面	-	2.12	1.22	0.42	-
76	Sx51	LR55	範圍 [B]	土灰、土壘	-		51-49、51-53	Ⅲ層上面	(2.58) (1.94) 0.11	-	-	-	
76	Sx58	LR55	範圍 [B]	-	-			Ⅲ層上面	(1.96) (1.58) 0.10	-	-	-	
76	Sx60	LR55	範圍 [B]	-	-			Ⅲ層上面	(2.36) (1.06) 0.08	-	-	-	
77	Sx73	LO59	範圍 [B]	白磁	-			Ⅲ層上面	時期不明、遊器?	4.56	1.64	0.19	-
73	Sx76	LO56	範圍 [B]	-	-			Ⅲ層上面	江戸時代以降、富士上のSxだか、旧水田を区画する溝か。	1.30	0.40	0.08	-
73	Sx82	LO57	範圍 [B]	-	-			Ⅲ層上面	江戸時代以降、富士上のSxだか、旧水田を区画する溝か。	2.22	0.44	0.08	-
77	Sx85	LR57	範圍 [B]	土壘	-			Ⅲ層上面	SD83と同層か?	6.52	(2.58) 0.20	-	-
76	Sx126	LO38	範圍 [C]、その他	-	-		85-84	Ⅲ層上面	旧河段か?	0.84	0.68	0.17	-
78	Sx167	MR48	範圍 [C]、その他	土灰、土灯	-			Ⅲ層上面	埋没か、人為Sx	0	0.88	0.64	0.27
91	Sx644	MR43	範圍 [C]、SB	-	-			IV層上～Ⅲ層下部	未調査(Sx)	2.11	0.29	-	-
92	Sx651	MR43	範圍 [C]、SB	-	-			IV層上～Ⅲ層下部	未調査(Sx)	(1.66) 0.67	-	-	-
92	Sx653	MR43	範圍 [C]、SB	-	-			IV層上～Ⅲ層下部	未調査(Sx)	(2.02) 0.66	-	-	-
93	Sx698	MR43	範圍 [C]、SB	-	-			IV層上～Ⅲ層下部	未調査(Sx)、SA1004	0.83	(0.47)	-	-

## (6) 旧河道 (遺構Noを付したもの)

検出No	遺構No	アグリド	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
附図	SL6	M38	排水路「イ」	内黒灰、土灰、土壘、須巻、須巻壘類、緑釉瓦	-			Ⅲ層上面	-	-	-	-	-
78	SL8	M42	排水路「イ」	内黒灰、土灰、土灯、土壘、須巻、須巻壘類	-			Ⅲ層上面	-	3.56	2.14	0.21	-

## (7) 掘立柱建物跡

検出No	遺構No	アグリド	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
附図	SB901		範圍 [C]、SB	-	-				SKP918-620-621+624	-	-	-	-
附図	SB902		範圍 [C]、SB	-	-				SKP363-538-604-607-638-643	-	-	-	-
附図	SB903		範圍 [C]、SB	-	-				SKP249-650-667-668-671	-	-	-	-
附図	SB904		範圍 [C]、SB	-	-				SKP443-605-626-628-638-656	-	-	-	-
附図	SB905		範圍 [C]、SB	-	-				SKP429-437-602-696	-	-	-	-
附図	SB906		範圍 [C]、SB	-	-				SKP368-381-444-472-657-679	-	-	-	-

## (8) 櫛列跡

検出No	遺構No	アグリド	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
附図	SA1001		範圍 [C]、その他	-	-				SKP262-262-263-801	-	-	-	-
附図	SA1002		範圍 [C]、SB	-	-				SKP2046-428-533-617-622-623	-	-	-	-
附図	SA1003		範圍 [C]、SB	-	-				SKP648-654-655-697-610	-	-	-	-
附図	SA1004		範圍 [C]、SB	-	-				SKP395-536-608-646-647-699-675-684-698	-	-	-	-
附図	SA1005		範圍 [C]、SB	-	-				SKP867-663-666-670-672-683-684	-	-	-	-
附図	SA1006		範圍 [C]、その他	-	-				SKP914-318-319-343-378-382-383-402-408-421-686-758-760-761-767	-	-	-	-
附図	SA1007		範圍 [C]、その他	-	-				SKP284-313-317-329-341-345-401-416-685-759	-	-	-	-
附図	SA1008		範圍 [C]、その他	-	-				SKP915-316-320-342-410-688-689-768	-	-	-	-
附図	SA1009		範圍 [C]、その他	-	-				SKP2788-2786-282-323-324-357-415-600-601-750-795-796-797	-	-	-	-
附図	SA1010		範圍 [C]、その他	-	-				SKP387-389-414-417-738-724-764	-	-	-	-
附図	SA1011		範圍 [C]、その他	-	-				SKP122-245-247-248-252-306-307-378. SK106-123	-	-	-	-
附図	SA1012		範圍 [C]、その他	-	-				SKP391-399-421-729-728-741-742-749-765	-	-	-	-
附図	SA1013		範圍 [C]、その他	-	-				SKP2788-2786-309-315-317-358-379-661-662-663	-	-	-	-
附図	SA1014		範圍 [C]、SB・その他	-	-				SKP119-305-319-323-328-329-502-618-764	-	-	-	-
附図	SA1015		範圍 [C]、SB・その他	-	-				SKP250-251-344-408-456-529-639-648-668-680-765-766-767	-	-	-	-

## (9) その他

検出No	遺構No	アグリド	地区	掘取外出土遺物	掘取外出土木製品	柱材	重複	確認面	備考	To-a	長軸	短軸	深さ
附図	SL区407	ME45	範圍 [C]、SL	内黒灰、黒色土、土灰、土壘、土灯、土壘、須巻、須巻壘類	箸2、曲物			Ⅲ層上面	祭祀区、旧河道、SL407	-	-	-	0.25
附図	乙B区447	LO43	範圍 [C]、乙B	内黒灰、黒色土、土灰、土灯、土壘、須巻壘類	高弁、串7、箸3、木製容器、曲物		447-445	Ⅲ層上面	祭祀区、SD445に連続、江戸時代以降	-	-	-	-
附図	甲A区532	LR46	範圍 [C]、甲A	内黒灰、黒色土、土灰、土壘、土灯、土壘、須巻壘類	形代2、罎、茶箱13、串6、箸17、曲物17、木製容器2、下駄3、箆、編籠			Ⅲ層中	掘取区、埋没している旧河道(SK532、SD445)D	-	-	-	-
附図	甲B区445	LR44	範圍 [C]、甲B	内黒灰、黒色土、土灰、土灯、土壘、須巻壘類、灰釉瓦	箸10、曲物4			Ⅲ層上面	祭祀区、SD31と連続、江戸時代以降	-	-	-	-

## 「掲載外出土遺物」欄 凡例

- 内黒：内黒土師器
- 黒色：黒色土器
- 土：土師器
- 須：須恵器
- 灰釉：灰釉陶器
- 緑釉：緑釉陶器
- 灯：灯明皿
- 墨：墨書土器
- へ：へら書土器
- 漆：漆塗土器

附表2 厨川谷地遺跡 遺物出土分布表 (附図6に対応)

灯明皿			内庫土師器群			黒色土器			須置器群			須置器群			転用器																
土師器	SK503	LT37	2	SL6	SK443	LR41	139	MD46	34	MC44	1	SL6	LF50	1	MC50	2	SL6	SL407	LM45	3	MA46	7	MH37	1	土師器	LT41	1				
SK506	LT38	21		SL8	SD445	LR42	47	MD47	18	MD45	1	SL8	LQ42	4	MD37	1	SL8	SKP409	LN49	2	MA47	10	MH40	1	SK107	油罐	LT44	1			
(S081)	SK507	LT39	47	SK102	SD446	LR43	44	MD48	11	MD47	1	SK102	LQ43	2	MD38	10	SK222	SK427	LQ38	1	MA48	22	MH41	5	SK107	油罐	LT46	2			
SK502	LT40	3		SK102	SK447	LR44	20	MD49	4	MD45	2	SK103	LQ44	2	MD39	4	SK222	SK427	LQ39	1	MA49	12	MH42	11	SK157	油罐	LT47	2			
SK103	SK509	LT44	1	SK104	SKP474	LR45	20	(MD52)	2	MD46	5	SK107	LQ45	1	MD40	20	(SD31)	SK438	LQ40	2	MA50	2	MH43	1	SK157	油罐	(LF53)	1			
SK104	SK513	MA38	14	SK105	SK502	LR46	25	MD37	4	MF40	1	SK107	LQ47	1	MD41	20	SK107	SK443	LQ41	1	MA50	19	MH44	1	SK166	油罐	(LJ39)	1			
SK107	SK516	MA40	1	SK106	SK503	LR47	6	MD38	6	MD40	1	SK165	LQ48	2	MD42	8	SK103	SD445	LQ42	4	MD39	20	MA51	1	SK171	油罐	(LJ42)	1			
SK108	SK520	MA41	4	SK107	SK505	LR48	2	MD39	10	MD40	8	SK175	LQ50	2	MD43	19	SK104	SD446	LQ43	1	MA40	18	MH47	7	SK205	甕	MD46	4			
SK109	SK521	MA42	7	SK108	SK506	LR49	6	MD40	6	LT40	1	SK175	MC45	2	MD39	16	SK104	SK447	LQ44	2	MD35	205	MH40	3	SK205	甕	MA38	1			
SK116	SK530	MA44	3	SK113	SK507	LS39	26	MD41	9	22	SK177	MC46	1	SKP121	LR40	2	MD45	MD502	LQ47	1	MD42	13	MH41	8	SK398	油罐	MA39	3			
SKP121	SK532	MA46	2	SK116	SK513	LS40	97	MD42	25		SK178	MC47	3	SKP122	LR41	18	MD46	SK106	SK506	(L058)	1	MD43	6	MH42	3	SK532	MA40	3			
SD144	SKP538	MA47	6	SKP119	SKP524	LS41	66	MD43	28		SK179	MC50	1	SK124	LR42	18	MD47	SK108	SK507	LP38	2	MD44	25	MH43	3	L042	1	MA41	6		
(K453)	SK501	MA48	1	SKP121	SKP522	LS42	11	MD44	43		SK263	MD43	2	SK150	R445	3	MD48	SK512	LP39	3	MD45	9	MH44	1	SK107	油罐	MA44	1			
SKP152	KT144	MD11	1	SK144	(LS41)	1		MD45	30		SK181	MD39	1	SK181	R446	3	MD49	SKP114	SK508	LP40	1	MD46	4	(MR48)	1	SK108	油罐	MA46	1		
SK154	(L439)	MD39	1	SK150	(LA58)	1	LS45	3	MD46	13	SK209	MD40	1	SK156	R447	3	(MD52)	2	SK116	SK528	LP42	7	MD47	6	(MH42)	2	(LH43)	1	MA47	2	
SK155	(L440)	MD40	1	SK154	(LD42)	9	LS46	2	MD47	5	SK210	MD41	1	SK157A	R448	2	(MD53)	1	SKP121	LR43	8	MD48	2	MC49	1	MA50	1	MA50	1		
SK156	(L853)	MD44	4	SK155	(L843)	1	LS47	4	MD48	2	SK234	MD42	3	SK160	LS38	2	MC37	4	SKP122	SK532	LP44	4	MC37	2	MD45	1	MD45	1	MD46	4	
SK157	(L854)	MD45	8	SK156	(L842)	1	LS48	1	MD49	1	SK263	MD43	2	LS39	2	MD38	3	SK124	(K139)	2	LQ38	2	MC38	23	SK108	MD40	4	MD47	1		
SR158	(LD40)	MD41	8	SK157	(L843)	1	LS49	1	MD52	1	SK265	MD44	2	SK170	LS40	7	MC39	5	(K140)	1	LQ39	10	MC39	18	SD43	3	MD43	3	MD43	3	
SK160	(LD47)	MC38	20	SK16157B	(LE51)	1	LT38	6	(MF36)	1	SK278	MD45	12	SK176	LS41	8	MD40	11	SK150	(LA40)	1	LQ40	5	MD40	18	SK106	MD44	2	MD44	2	
SK163	(LE41)	MC39	5	SK160	(LF42)	1	LT39	52	MF37	4	SK304	MD46	3	SK178	LS42	2	MD41	12	SK154	(LA48)	2	LQ41	19	MC41	8	SK166	MC38	4	MD44	4	
SK167	(LE50)	MC40	1	SK163	(LF43)	3	LT40	27	MF38	4	SKP324	MD47	1	SR174	LS43	1	MD42	22	SK155	(L842)	1	LQ42	24	MD47	17	SK107	MC39	3	MD47	3	
SK168	MC41	7		SK166	(LF45)	1	LT41	23	MF39	3	SK269	MD48	1	SKP379	LS45	2	MD43	32	SK167	(L848)	1	LQ43	8	MC43	12	SK108	MD40	4	MD48	4	
SK170	(L640)	MD43	1	SK166	(L640)	1	LT42	8	MD49	9	SK375	MC38	2	SK160	LS47	1	MD44	32	SK160	(L857)	1	LQ44	28	MD44	24	SKP114	MC43	1	MD43	1	
SK171	(L641)	MC44	1	SK170	(L641)	1	LT43	7	MF41	7	SK407	MC39	2	SK181	LS50	1	MD45	27	SK163	(L858)	1	LQ45	15	MC45	60	SK150	MD45	4	MD44	4	
SK175	(L642)	MC45	1	SK171	(L642)	1	LT45	19	MF42	9	SK443	MC40	2	SK201	LT38	2	MD46	6	SK165	(L840)	1	LQ46	2	MD46	27	SK157AB	MC46	2	MD46	2	
SK176	(H439)	MC46	9	SK175	(L644)	1	LT46	3	MF43	6	SD445	MC41	2	SK204	LT39	15	MD47	6	SK166	(L842)	3	LQ47	2	MD47	11	SK168	MC47	1	MD47	1	
SK177	(H41)	MC47	1	SK176	(H41)	1	LT47	12	MF44	12	SK205	MC42	3	SK209	LT40	2	MD48	48	SK168	(L845)	1	LQ48	2	MD48	18	SK168	MD38	2	MD48	2	
SK178	(H412)	MC48	4	SK177	(H412)	1	LT48	24	MF45	5	SKP458	MC48	3	SK209	LT41	30	MD50	1	SK170	(D053)	2	LQ49	2	MD49	3	SK168	MD43	2	MD49	2	
SK179	(H443)	MC49	3	SK178	(H41)	1	LT49	5	MF46	9	SK502	MC44	5	SK210	LT43	6	MF37	5	SK171	(L838)	1	LQ50	3	MD50	1	SK170	MD44	4	MD44	4	
SK180	(H44)	MC50	5	SK179	(H43)	3	LT50	2	MF47	8	SK503	MC45	2	SK233	LT44	2	MF38	2	SK173	(L844)	1	LQ38	3	MD51	1	SR174	MD45	8	MD45	8	
SK181	(H45)	MC50	6	SK180	(H44)	3	(LT53)	1	MF48	5	SK506	MC46	1	SK234	LT45	7	MF39	4	SK175	(L839)	1	LR39	8	MD54	1	SK178	MD46	2	MD46	2	
SK185	(H46)	MC50	1	SK181	(H45)	3	(NF52)	1	MF49	12	SK508	MC47	1	SK240	LT46	2	MD49	2	SK176	(L840)	2	LQ49	2	MD49	3	SK178	MD47	2	MD47	2	
(SK193)	(H47)	MC43	2	SK183	(H49)	1	MA38	23	MG37	3	SK520	MC48	5	SKP248	LT47	2	MF43	18	SK177	(L841)	1	LR41	135	MD39	19	SK181	MD48	1	MD48	1	
(SK195)	(L139)	MD45	1	SK187	(L140)	1	MA39	22	MG39	1	SKP254	MF41	1	SK268	LT48	1	MF44	9	SK178	(L843)	1	LR42	76	MD39	4	SK201	MC42	1	MD42	1	
(SK198)	(L140)	MD46	5	SKP207	(L142)	2	MA40	29	MG40	1	SK532	MF43	4	SK279	LT49	1	MF45	10	SK179	(L847)	6	LR43	5	MD49	4	SK205	MC45	2	MD45	2	
(SK199)	(L141)	MD47	4	SKP208	(L143)	4	MA41	10	MG42	9	SK533	MF45	2	SK287	LT50	1	MF46	7	SK180	(L848)	1	LQ44	23	MD49	11	SK210	MC46	1	MD46	1	
SKP202	(L143)	MD48	1	SK209	(L144)	4	MA42	4	MG44	3	(L644)	1	MF46	41	SK300	MA38	1	MF47	27	SK181	(LH39)	2	LR45	42	MD42	10	SK222	MC47	1	MD47	1
SK204	(L144)	MD49	1	SK210	(L147)	2	MA43	7	MG46	1	(L842)	1	MF47	1	SK302	MA39	26	MF48	3	SK183	(LH42)	2	LR46	28	MD43	14	SK212	MF44	1	MD47	1
SK205	(L147)	MD50	1	SK211	(L148)	2	MA44	5	MG47	1	LP38	2	MG38	3	SK304	MA40	16	MF49	4	SK187	(LH46)	2	LR47	12	MD44	25	SK209	MF45	3	MD47	3
SK209	(L148)	3	MD51	SK212	(L141)	5	MA45	5	MG49	1	LP40	1	MG40	2	SKP225	MA41	28	(LH39)	1	(SK199)	(LH47)	1	LR48	8	MD45	44	SK234	MD40	1	MD40	1
SK210	(L140)	5	MD42	SK233	(L143)	1	MA46	3	MH41	1	LP42	1	MG43	1	SKP334	MA42	9	LS46	1	(L848)	(L840)	1	LR49	11	MD47	15	SK204	MD46	1	MD46	1
SK227	(L142)	2	MD43	SK234	(L144)	2	MA47	9	MH42	1	LQ37	1	158	SK340	MA43	22	(LF53)	1	SK181	(L38)	1	LR50	2	MD47	2	SK334	MH47	1	MD47	1	
SK233	(L142)	6	MD44	SK238	(L144)	2	MA49	8	MH46	2	(L140)	2	1	SK205	MA45	5	LT42	1	SK205	(L138)	1	(L851)	1	MD48	2	SK209	MF45	3	MD47	3	
SK234	(L144)	2	MD45	SK240	(L147)	2	MA50	2	MH47	2	MD41	16	2	SK352	MA46	5	LQ49	1	SK209	(L142)	1	(L852)	1	MD50	1	SK227	MF46	1	MD47	1	
SK265	(L45)	1	MD46	SK262	(L48)	2	MD53	3	MH42	4	LQ42	2	1	SK359	MA45	6															